

平成23年度

医療機関等看護職員需要調査

報告書

平成24年 3月

三重県

社団法人 三重県看護協会

目 次

1 調 查 目 的	1
2 調 查 方 法	1
3 調 查 結 果	1
4 調查結果集計表	2 1
5 調 查 票	4 3

1 調査目的

三重県内の病院における看護職員の需要状況や雇用の実態を把握し、県内における看護職員の確保、就労支援を図るために本調査を実施しました。

2 調査方法

- (1) 調査基準日 : 平成23年 7月 1日現在
 (2) 調査対象 : 三重県内102病院
 (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
 回答方法は、記名(施設名、問い合わせ電話番号、記入者)としました。
 調査票発送 : 平成23年 8月30日
 回答締切日 : 平成23年 9月30日
 (4) 回収状況
 発送数 : 102病院
 回答数 : 76病院
 回収率 : 74.5%

業務委員会が、調査項目及び集計結果について検討を行いました。

3 調査結果

(1) 回答施設の基本情報

	区分		調査対象数	回収数	回収率
			[対象総数: 102]	[回収総数: 76]	
			A	B	B/A
			(施設)	(施設)	(%)
内 訳	保健医療圏別	北勢	43	35	81.4%
		中勢	31	24	77.4%
		南勢	23	15	65.2%
		東紀州	5	2	40.0%
	病床数別	100床未満	41	24	58.5%
		100~199床	12	10	83.3%
		200~299床	26	22	84.6%
		300~399床	11	9	81.8%
		400~499床	6	6	100.0%
		500以上	6	5	83.3%
	病床種別	一般	27	21	77.8%
		一般・療養・結核・感染	40	32	80.0%
		療養	17	10	58.8%
		精神	13	10	76.9%
		一般・精神・療養・精神	5	3	60.0%

76施設の所在地を二次保健医療圏別にみると、北勢保健医療圏が46.1%を占め、次いで中勢保健医療圏が31.6%、南勢保健医療圏が19.7%、東紀州保健医療圏は2.6%でした。したがって結果数値には北勢保健医療圏の傾向が強く現れます。また、設置主体別では医療法人、県・市町立、厚生連・独立行政法人の順となっています。基本情報別にみた調査票

回収率をみると、保健医療圏別で北勢保健医療圏が81.4%と最も高く、次いで中勢保健医療圏77.4%、南勢保健医療圏65.2%、東紀州保健医療圏40.0%でした。病床別では400～499床の施設が100%、次いで200～299床、100～199床、300～399床、500床以上、100床未満の順で、病床種別では一般・療養・結核・感染、一般、精神の順となっています。回収率が低かった施設の特徴は、東紀州保健医療圏、100床未満の病院、療養病床であり、結果にはこの施設の特徴の反映が少し弱くなっています。

(2) 調査結果の概要

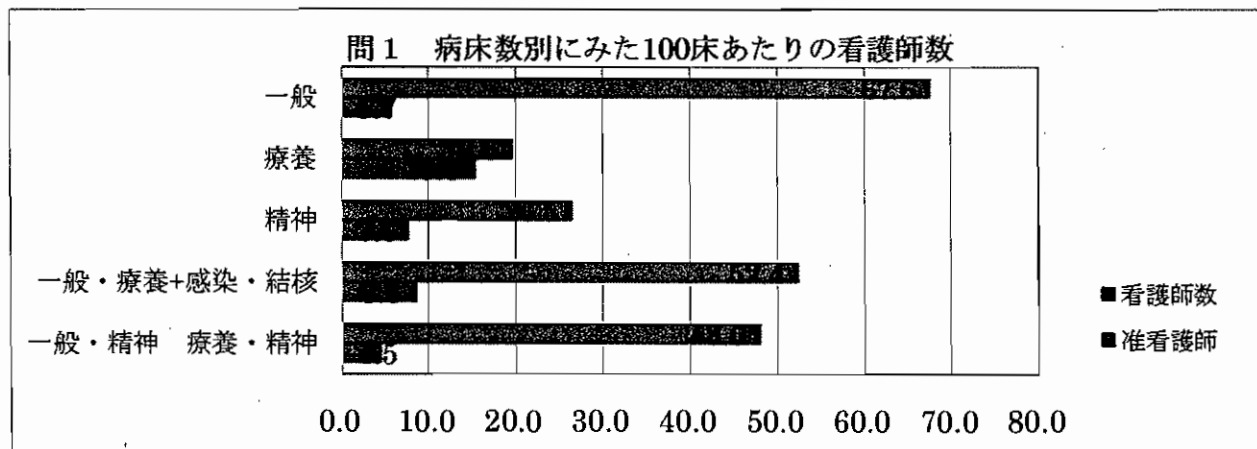
問1 平成23年7月1日現在の看護職員の現員数、欠員数について

(回答施設：76)

	常勤 (人) A1	平均 勤務 年数	短時間正職員		非常 勤 (人) B	パート・アルバ イト (人)		休職 休業 (人)	欠員 数 (人) D	必要数 (人) E(A1+A2+B+C +D)	現員数 (人) A1+A2+B+C	不足 率 D/E
			実 人員	常勤 換算 A2		実人員	常勤 換算 C					
看	7,590	8.9	252	101.3	197	862.5	533.3	464	121	8,542.6	8,421.6	1.4%
准	1,042	15.6	37	17.3	96	243.5	145.5	16	7	1,307.8	1,300.8	0.5%
助	175	9.3	1	0.6	2	10	5.2	16	3	185.8	182.8	1.6%
保	28	4.6	0	0	0	2	0.9	4	0	28.9	28.9	0.0%
看護 助保 区分 なし									6	6.0	0.0	
合計	8,835		290	119.2	295.0	1,118.0	684.9	500.0	137.0	10,071.1	9,934.1	1.4%

看護職員の現員数は、全体で9934.1人、休職・休業が500人、欠員数137人となっています。平均勤務年数は、看護師8.9年、准看護師15.6年、助産師9.3、保健師4.6年となっています。欠員数を職種別にみると、看護師、准看護師、助産師の順。不足率(必要数と欠員数の合計に対する欠員数の割合)を職種別にみると、助産師、看護師、准看護師の順となっています。(p22 表7～表11)平成21年度調査では不足率が、助産師は5.8%、看護師は2.3%でした。

看護師の平均勤務年数について、保健医療圏別では東紀州が12.65年、中勢伊賀が9.21年、北勢が8.65年、南勢志摩が8.53年となっています。平成21年度の調査から、県内全域で平均勤務年数が延びました。病床種別にみた100床あたりの看護師数(看護師数と病床数の割合)を算出したところ、一般67.6人、療養19.6人、精神26.5人、一般・療養・感染・結核は52.4人、一般精神・療養精神は48.0人となっています。(p25 表29)



問2 看護職員を補充したいと考えている部分について

〈回答施設数：71〉

	内容	常勤	非常勤	パート・アルバイト
1	患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員	54	12	9
2	フルタイムで働ける職員（夜勤専従）	24	15	5
	フルタイムで働ける職員（土日祝のみ）	8	7	8
	フルタイムで働ける職員（日勤のみ）	15	11	5
3	有給休暇取得（年次休暇・下記休暇などの）取得率を上げるために勤務する職員	20	11	4
4	研修による人員不足を補充するための職員	16	9	5
5	産休・育休・退職者の補充をするための職員	35	12	4
6	休床再開のための職員	6	0	0
7	新人研修を実施するために必要な職員	15	8	3
8	人員不足となる時間帯を補充する短時間勤務職員	0	9	13
	その他	2	1	1

看護職員を補充したいと考えている部分について、常勤では「患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員」が最も多く、次いで「産休・育休・退職者の補充をするための職員」、「フルタイムで働ける職員（夜勤専従）」の順となっています。

非常勤では「フルタイムで働ける職員（夜勤専従）」次いで「患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員」「産休・育休・退職者の補充をするための職員」となっています。パート・アルバイトでは、「人員不足となる時間帯を補充する短時間勤務職員」、「患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員」、「フルタイムで働ける職員（土日祝のみ）」の順となっています。

平成21年度調査で、2番目に多かった「有給休暇取得率を上げるために勤務する職員」、3番目に多かった「研修による人員不足を補充するための職員」より、「産休・育休・退職者の補充をするための職員」「フルタイムで働ける職員（夜勤専従）」が上回った結果となっています。また平成21年度では質問項目に「産休・育休・退職者の補充をするための職員」がなかったが、今回の調査では項目に加え、常勤・非常勤ともに回答数が上位に入っています。

問1において、欠員の記入があった19施設で、看護職員を補充したい部分の回答値は、「患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員」が多くなっています。（p25 表31）

問3 平成23年度採用の看護職員（新卒採用者）の退職者数

〈回答施設：10〉

看護師	准看護師	助産師	保健師	合計（人）
15	2	0	0	17

平成23年4月新卒採用者で、平成23年6月30日までに退職した人数は17人となっています。平成21年度は26人であり、早期退職者は大きく減少しています。

問4 平成22年度の採用、退職者数

〈回答施設：73〉

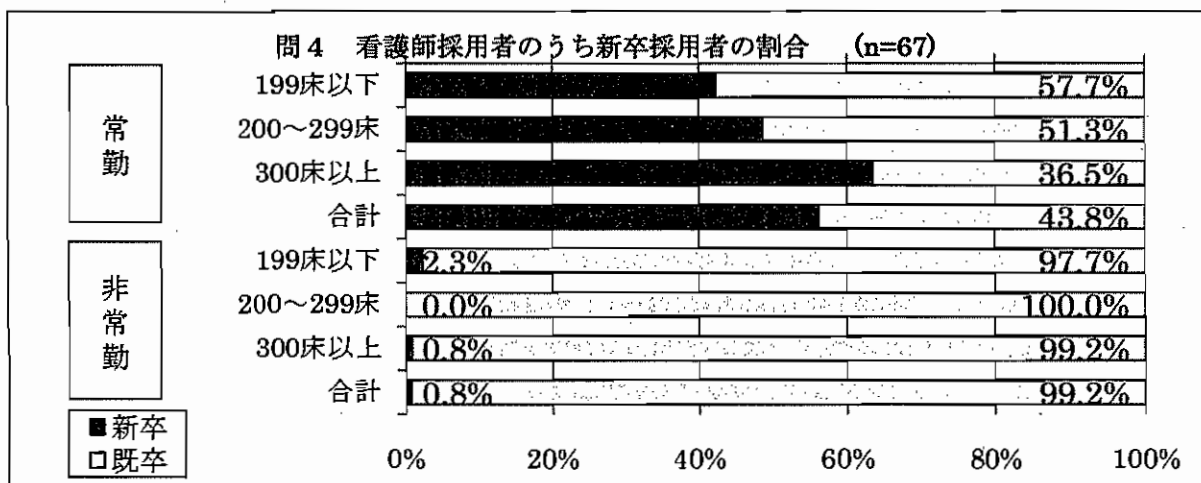
	募集人数		採用人数				退職者数				新卒採用率		新卒退職率	
							うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者					
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
	(人)	(人)	A	B	C	D			E	F	C/A	D/B	E/C	F/D
看	648	37	841	262	473	2	716	187	19	2	56.2%	0.8%	4.0%	100.0%
准	22	9	75	43	20	4	91	40	1	1	26.7%	9.3%	5.0%	25.0%
助	25	0	12	1	10	0	13	2	1	0	83.3%	0.0%	10.0%	
保	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	-		
計	695	46	929	306	503	6	820	229	21	3	54.1%	2.0%	4.2%	50.0%

平成22年度の募集について回答があったのは47施設で、看護職員全体の募集人数は、常勤695人、非常勤46人となっている。採用を行った施設は68施設で、常勤929人、非常勤306人、そのうち新卒を採用した施設は50施設で、常勤503人、非常勤6人となっています。

平成22年度に採用を行った施設は68施設で、常勤929人、非常勤306人、新卒採用を行った施設は50施設となっています。

常勤職員の新卒採用率（全体の採用人数と22年度新卒者の採用人数の割合）を職種別に見ると、助産師が最も高く、次いで看護師、准看護師の順となっています。非常勤では、准看護師、看護師の順となっています。平成21年度では助産師の常勤職員の新卒採用率が40.9%で、今回調査では83.3%と大幅に増加しています。

常勤職員の新卒退職率（22年度新卒者の採用人数と22年度新卒者の退職者の割合）を職種別で見ると、常勤では、助産師、准看護師、看護師の順で、非常勤では、看護師、准看護師の順となっています。



問5 平成22年度の退職者(常勤職員)の理由別人数について

(回答施設数：71)

	看護師		准看護師		助産師		保健師		合計	
		22年度 新卒		22年度 新卒		22年度 新卒		22年度 新卒		22年度 新卒
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
退職者数	666	18	69	1	12	1	0	0	747	20
1 他の医療機関への転職	136	4	11	1	3	0	0	0	150	5
2 結婚	112	1	1	0	0	0	0	0	113	1
3 出産・育児	63	1	1	0	2	1	0	0	66	2
4 子どものため	18	1	0	0	2	0	0	0	20	1
5 進学	18	0	7	0	1	0	0	0	26	0
6 転勤・転居	42	0	6	0	0	0	0	0	48	0
7 家族の健康・介護	38	2	6	0	1	0	0	0	45	2
8 本人の身体的健康理由	51	4	10	0	1	0	0	0	62	4
9 本人の精神的健康理由	37	4	4	0	0	0	0	0	41	4
10 他の職種への転職	17	0	0	0	0	0	0	0	17	0
11 看護内容への不満	8	0	1	0	0	0	0	0	9	0
12 労働条件への不満	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0
13 人間関係	14	1	2	0	1	0	0	0	17	1
14 定年・契約期間満了	47	0	19	0	0	0	0	0	66	0
その他	57	0	1	0	1	0	0	0	59	0

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間に退職した常勤職員の退職理由について、回答した施設は71施設で、退職者総数は747人、うち平成22年新卒採用者は20人となっています。

退職者全体の「退職理由別」数で見ると、「他の医療機関へ転職」が最も多く、次いで「結婚」、「出産・育児」、「定年・契約期間満了」、「本人の身体的健康理由」の順となっています。その他の内容は、「研修」9人、「時間外が多い」8人、「家事専念」6人、「業務についていけない」3人、「急性期看護に限界」3人、「語学留学」3人等があげられています。

平成21年度の調査と、ほぼ同じような結果になっています。

問6 採用後1～5年目までの新卒看護職員の現時点における職場定着状況について

〈回答施設数：60〉

				看護師	准看護師	助産師	保健師	計
平成22年度	採用	A	(人)	476	20	10	0	506
	定着	B	(人)	446	18	8	0	472
	定着率	B/A	(%)	93.7%	90.0%	80.0%	-	93.3%
平成21年度	採用	C	(人)	486	24	9	1	520
	定着	D	(人)	400	17	5	0	422
	定着率	D/C	(%)	82.3%	70.8%	55.6%	0.0%	81.2%
平成20年度	採用	E	(人)	476	18	8	0	502
	定着	F	(人)	368	13	4	0	385
	定着率	F/E	(%)	77.3%	72.2%	50.0%	-	76.7%
平成19年度	採用	G	(人)	456	14	4	1	475
	定着	H	(人)	299	8	2	1	310
	定着率	H/G	(%)	65.6%	57.1%	50.0%	100.0%	65.3%
平成18年度	採用	I	(人)	439	16	13	0	468
	定着	J	(人)	249	7	6	0	262
	定着率	J/I	(%)	56.7%	43.8%	46.2%	-	56.0%

平成22年度、採用数、定着数共に記入のあった60施設で、その施設の定着率（採用者数と定着者数の割合）をみたところ、93.3%となっています。また病床数の少ない施設の定着率がより低くなっています。

職種別では、看護師93.7%、准看護師90.0%、助産師80.0%となっています。
(p29 表49～58)

採用後4～5年から定着率が低くなっていますが、2年前の調査と比べ改善傾向にあります。

問7 看護職員における今後の増員・減員の予定について

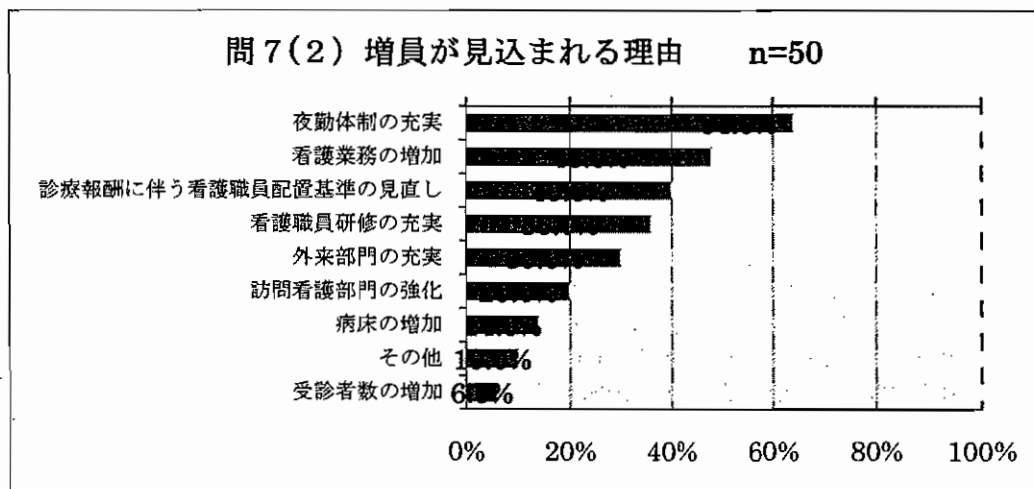
(1) 今後3年間の増員・減員予定

増員予定があると回答した施設は50、減員予定があると回答したのは2施設ありました。

〈回答施設数：75〉

1	増員の予定がある	50
2	減員の予定がある	2
3	増員・減員の予定はない	15
4	分からない	8
合計		75

(2) 増員が見込まれる理由〔(1)で「増員の予定がある」と回答した施設が回答】【複数回答】



(3) 減員が見込まれる理由[(2)で「減員の予定がある」と回答した施設が回答]【複数回答】

(回答施設：2)

1	病床の減少(病床閉鎖を含む)	2
2	診療科目の見直し	0
3	看護職員配置の見直し	0
4	看護業務の効率化(IT化等)	0

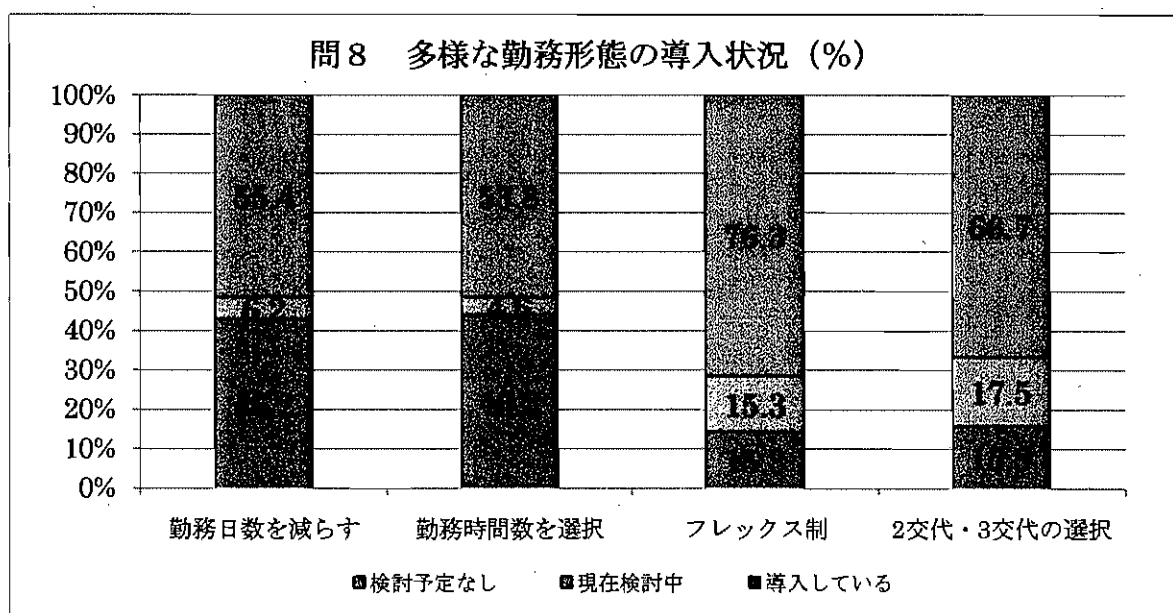
問8 「多様な勤務形態」の導入状況について【複数回答】

取組内容		導入している (施設数)	現在 検討中 (施設数)	検討予定 なし (施設数)	合計 (施設数)
1	週または月のうちの勤務日数を減らす勤務形態	30	4	36	70
2	1日のうちの勤務時間数が選択できる勤務形態	30	3	35	68
3	フレックス制	9	9	45	63
4	同一の病棟内においても2交代・3交代の選択ができる	10	11	42	63

多様な勤務形態で導入が進んでいるのは、「1日のうちの勤務時間数が選択できる勤務形態」が最も多く、次いで「週または月のうちの勤務日数を減らす勤務形態」、「同一の病棟内においても2交代・3交代の選択ができる」の順となっています。

その他の回答として、「小学校就学前までの勤務時間短縮」「夜勤回数を減らす勤務形態」という回答がほとんどでした。

平成21年度の調査と、ほぼ同じような結果になっています。



問9 看護職員の確保・定着のために取り組んでいるものについて〔複数回答〕

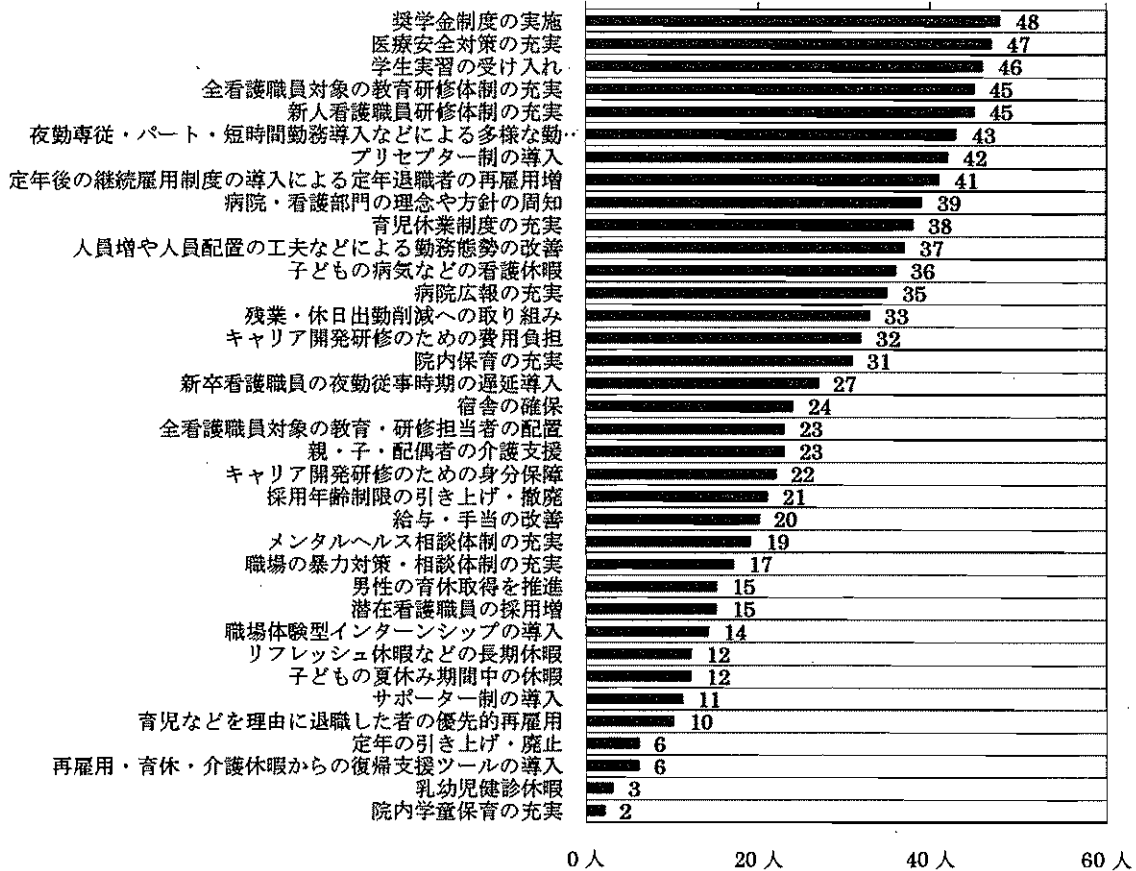
〈回答施設：65〉

取組内容	取り組んでいる	効果があつた	効果率 (効果/取組)
	A (施設数)	B (施設数)	B/A (%)
1 病院・看護部門の理念や方針の周知	39	0	0.0
2 プリセプター制の導入	42	12	28.6
3 サポーター制の導入	11	0	0.0
4 人員増や人員配置の工夫などによる勤務態勢の改善	37	8	21.6
5 残業・休日出勤削減への取り組み	33	7	21.2
6 新卒看護職員の夜勤従事時期の遅延導入	27	2	7.4
7 全看護職員対象の教育研修体制の充実	45	8	17.8
8 全看護職員対象の教育・研修担当者の配置	23	0	0.0
9 新人看護職員研修体制の充実	45	11	24.4
10 キャリア開発研修のための身分保障	22	4	18.2
11 キャリア開発研修のための費用負担	32	7	21.9
12 医療安全対策の充実	47	5	10.6
13 職場の暴力対策・相談体制の充実	17	0	0.0
14 採用年齢制限の引き上げ・撤廃	21	4	19.0
15 夜勤専従・パート・短時間勤務導入などによる多様な勤務形態の導入	43	19	44.2
16 定年の引き上げ・廃止	6	3	50.0
17 定年後の継続雇用制度の導入による定年退職者の再雇用増	41	11	26.8
18 給与・手当の改善	20	5	25.0
19 院内保育の充実	31	18	58.1
20 院内学童保育の充実	2	0	0.0
21 宿舍の確保	24	2	8.3
22 親・子・配偶者の介護支援	23	3	13.0
23 リフレッシュ休暇などの長期休暇	12	1	8.3
24 育児休業制度の充実	38	7	18.4
25 乳幼児健診休暇	3	0	0.0
26 子どもの病気などの看護休暇	36	3	8.3
27 子どもの夏休み期間中の休暇	12	1	8.3
28 男性の育休取得を推進	15	0	0.0
29 メンタルヘルス相談体制の充実	19	1	5.3
30 潜在看護職員の採用増	15	2	13.3
31 再雇用・育休・介護休暇からの復帰支援ツールの導入	6	0	0.0
32 育児などを理由に退職した者の優先的再雇用	10	0	0.0
33 病院広報の充実	35	6	17.1
34 学生実習の受け入れ	46	12	26.1
35 職場体験型インターンシップの導入	14	3	21.4
36 奨学金制度の実施	48	23	47.9

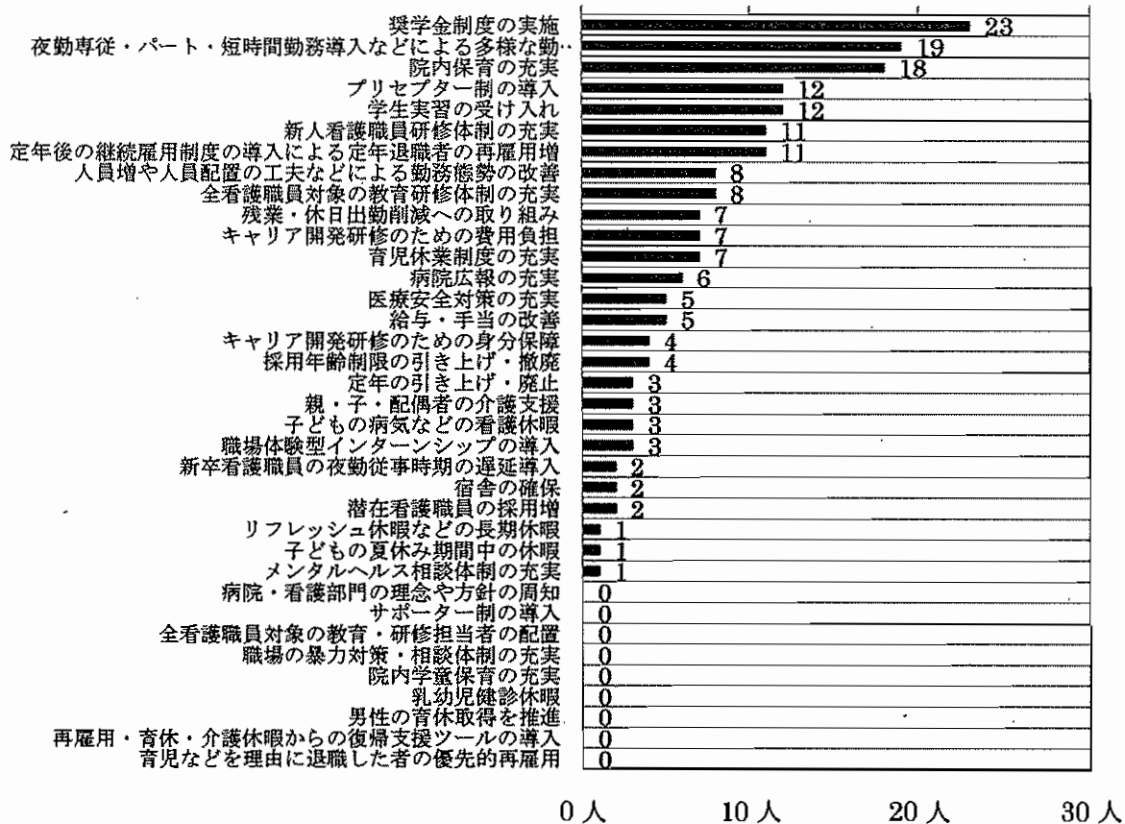
効果率（（取り組んでいる内容と効果があつたものの割合）をみると、「院内保育の充実」が最も高く、次いで「定年の引き上げ・廃止」、「奨学金制度の実施」、「夜勤専従・短時間勤務導入などによる多様な勤務形態の導入」の順となっています。この4つの取組内容は平成21年度の調査でも効果率が高くなっています。21年度で42.3%だった「給与・手当の改善」の効果率は、今年度25.0%と下がっています。

その他の取り組み内容として、「育児短縮時間勤務」「育休明け 元の部署へ復帰」「保育(入所) 経済的支援」「ISOの導入」が挙げられています。そのうち「育児短縮時間勤務」「育休明け 元の部署へ復帰」「ISOの導入」は効果があったと答えています。

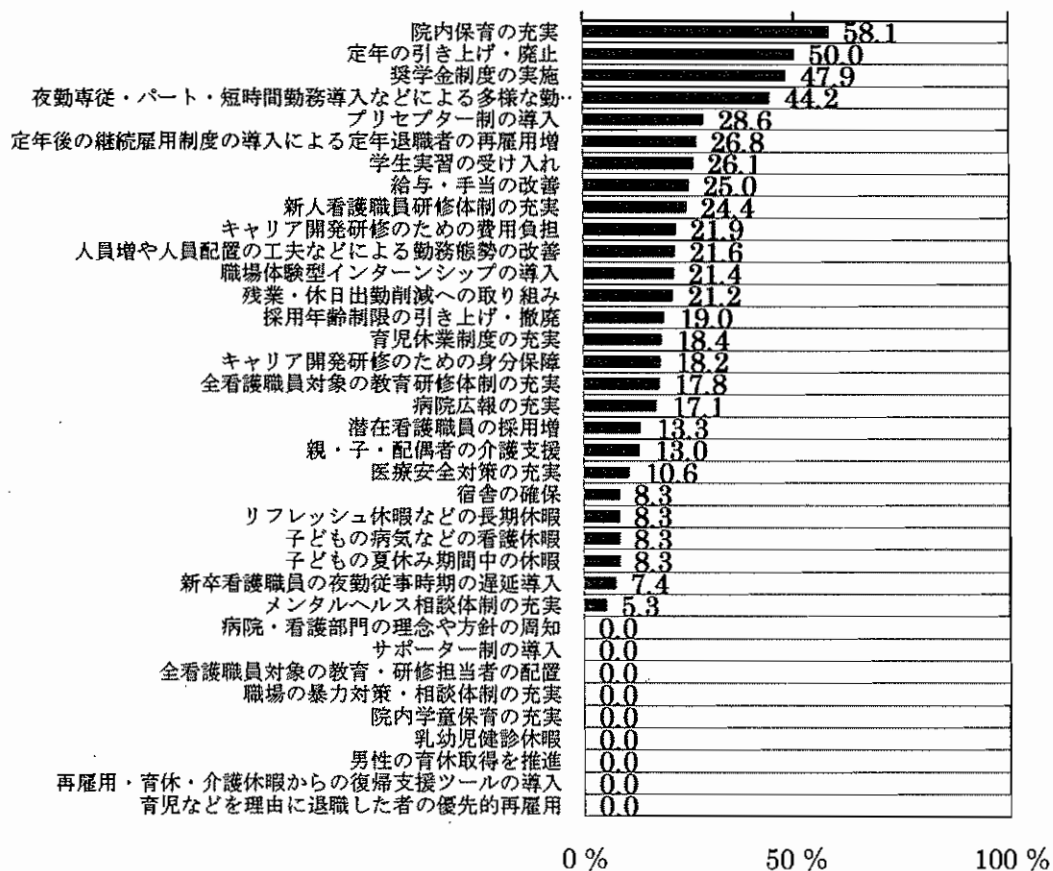
問9-1 看護職員確保・定着のための取り組みの状況



問9-2 看護職員確保・定着のための取り組み効果



問9-3 看護職員確保・定着のための取り組み内容の効果率



問10 看護職員確保に向け潜在看護職員の再就業に向けた研修について

(1) 実施状況について

〈回答施設数：75〉

	内容	施設数
1	すでに実施している	12
2	今後、実施予定である	8
3	実施する予定はない	55

(2) 取組状況について [(1)で「すでに実施している」と回答した施設が回答]

〈回答施設：12〉

年度	回数			1回の研修日数			申込者(見込)数			参加者(見込)数			就業者(見込)数		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
平成22年度の実績	1.4	2	1	2.3	5	1	5.3	18	1	4.8	18	1	1.9	5	1
平成23年度の計画	2.6	6	1	2.3	4	1	6.6	12	1	6.6	12	1	2.2	6	1

実績では、回数は1回、日数は2日が最も多くなっています。

また、計画では、回数は2回、日数は2日が最も多くなっています。

なお、研修を受けた者の就業率(平均参加者数と平均就業者数の割合)は、39.6%となっており、平成21年度調査の35.0%から少し上がっています。

問11 認定看護師、専門看護師について

(1) 配置状況

	回答施設数	人数	分野	人数
認定看護師	24	98	感染管理	13
			皮膚・排泄ケア	17
			緩和ケア	7
			集中ケア	8
			がん化学療法看護	11
			がん性疼痛看護	9
			救急看護	7
			糖尿病看護	8
			透析看護	3
			手術看護	3
			摂食・嚥下障害看護	5
			不妊症看護	1
			新生児集中ケア	1
			認知症看護	3
			脳卒中リハビリテーション看護	2
専門看護師	7	11	がん看護	6
			精神看護	3
			小児看護	1
			母性看護	1

認定看護師の取得者数は、有効回答(※)24施設の合計が98人、専門看護師の取得者数は、有効回答(※)7施設の合計が11人となっており、両者を合わせると109人となっています。平成21年度調査の78人から増加しています。

※ 日本看護協会の定める分野で記入された内容を、有効回答としました。

(2) 今後、養成したい認定・専門看護分野について [複数回答]

◎認定看護師

<回答施設：75>

項目	回答施設数	項目	施設数
感染管理	31	透析看護	9
皮膚・排泄ケア	16	手術看護	3
緩和ケア	5	摂食・嚥下障害看護	11
集中ケア	4	不妊症看護	0
がん化学療法看護	9	新生児集中ケア	3
がん性疼痛看護	8	認知症看護	15
救急看護	6	脳卒中リハビリテーション看護	7
糖尿病看護	11		

今後養成したい認定看護師の分野は、「感染管理」が最も多く、次いで「皮膚・排泄ケア」、「認知症看護」の順となっています。

◎専門看護師

<回答施設：14>

項目	回答施設数	項目	施設数
がん看護	5	母性看護	0
精神看護	4	慢性疾患看護	1
地域看護	0	急性・重症患者看護	1
老人看護	2	感染症看護	0
小児看護	2	家族支援	1

今後養成したい専門看護師の分野は、「がん看護」が最も多く次いで「精神看護」、「老人看護」「小児看護」という順になっています。

認定看護師・専門看護師ともに養成したい分野の回答数順位は、平成21年度調査と同様となっています。

問12 看護職員のキャリアアップ等へのサポート体制について

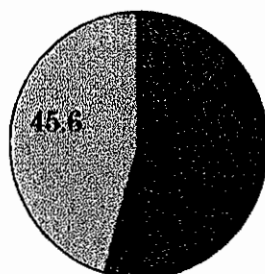
(1) 認定看護師資格取得のための研修参加への支援について

① 研修費用の経費(受講料、交通費、滞在費を含む)負担について

<回答施設：57>

項目	施設数
本人が全額負担する	8
病院が一部負担する	23
病院が全額負担する	26

問12(1)-① 認定看護師資格取得のための
研修費用について

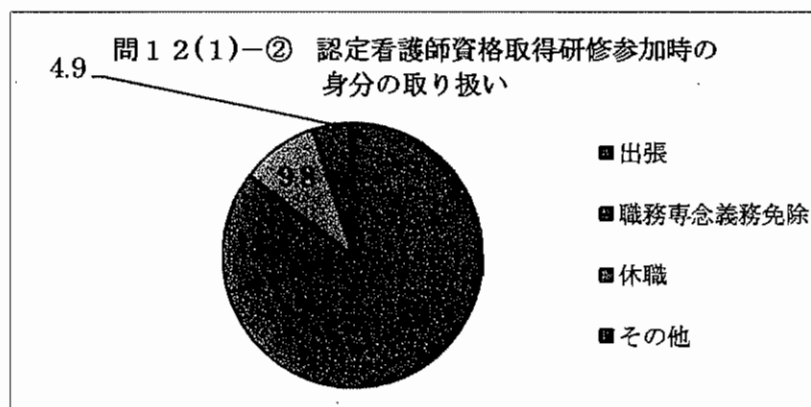


- 本人が全額負担する
- 病院が一部負担する
- 病院が全額負担する

② 研修へ出席するにあたっての身分の取り扱いについて

〈回答施設：61〉

項目（複数回答）	施設数
出張	43
職務専念義務免除	9
休職	6
その他	3



(2) 専門看護師教育課程を履修するにあたっての支援について

① 履修に係る経費(受講料、交通費、滞在費を含む)負担について

〈回答施設：41〉

項目	施設数
本人が全額負担する	18
病院が一部負担する	12
病院が全額負担する	9
その他	2

② 履修するにあたっての身分の取り扱いについて

〈回答施設：40〉

項目	施設数
出張	12
職務専念免除	6
休職	17
その他	5

問13 直近3ヶ月間（4～6月）における1日平均入院患者数、外来患者数等について

◎ 1日平均入院患者数

1日平均入院患者数をみると、合計で50人以下と答えた施設が最も多く50施設となっています。

病床種別にみると、一般病床では50人以下が最も多く21施設、次いで51～100人が7施設、療養病床では50人以下が最も多く20施設、次いで51～100人が9施設となっています。

◎ 平均在院日数

平均在院日数をみると、合計では11～20日が最も多く33施設となっています。

一般病床では、11日～20日が最も多く33施設となっています。療養病床は101～200日が11施設で最も多く、精神病床は301日以上が最も多く7施設となっています。

◎ 1日平均外来患者数

1日平均外来患者数の平均は、291人となっています。

1日平均外来患者数の全体でみると、51～100人の場合が最も多く11施設となっています。次に50人以下の場合が9施設で、601人以上は6施設となっています。

問14 入院基本料の算定状況について

(1) 平成23年7月1日現在の入院基本料の算定状況〔複数回答〕

〈回答施設：74〉

項目	病床種別						全体 (施設)
	一般	一般・他	精神・ 精神療養	回復	療養	その他	
	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	
1 7対1入院基本料	19	0	0	0	0	3	20
2 10対1入院基本料	20	2	1	0	1	1	25
3 13対1入院基本料	3	0	4	0	0	1	7
4 15対1入院基本料	6	3	13	3	0	0	24
5 その他	0	0	2	1	16	5	23
合計	48	5	20	4	17	10	

一般病床では「10対1入院基本料」、精神・精神療養病床では「15対1」が、最も多くなっています。7対1入院基本料は19施設（一般病床）が取得しています。

(2) 7対1入院基本料取得施設の状況

① 7対1入院基本料の取得年（7対1入院基本料取得施設のみ回答）

〈回答施設：19〉

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
回答施設数	0	8	5	3	1	2

平成19年中の取得が最も多くなっています。

② 看護職員配置を引き上げるためにとられた対応策について〔複数回答〕

〈回答施設：19〉

	項目	回答施設数
1	外来棟から病棟へ看護職員を配置転換した	13
2	新卒看護職の採用を増やした	10
3	病棟・病床数を削減した	4
4	病棟別に傾斜配置を行った	4
5	看護職員の業務の効率化を図った	4
6	病棟数を変更せずに入院患者数を制限した	3
7	病棟と他部門の看護体制を一本化した	2
8	その他	2

対応策では、「外来棟から病棟へ看護職員を配置転換した」が最も多く、次いで「新卒看護職の採用を増やした」の順になっています。

問15 一般病棟における夜勤の実態

(1) 最近1か月（平成23年7月）の一般病棟の看護職員（非管理職）の総夜勤時間数

一般病棟の看護職員（非管理職）の総夜勤時間数の割合をみると、『「①夜勤専従者」「②夜勤16時間以下の者」以外の者』が93.6%となりました。

〈回答施設：58〉

総夜勤時間数	時間	割合
①夜勤専従者	17521.75	5.1%
②夜勤時間16時間以下の者	4356.75	1.3%
③ ①②以外の者	321825.2	93.6%
合計	343703.7	100.0%

(2) 最近1か月（平成23年7月）一般病棟 看護職員（非管理職）の一人あたり夜勤時間数の分布

一般病棟の看護職員（非管理職）の一人あたり夜勤時間数分布をみると、もっとも多かったのは「48.1～64時間以下」21.5%で最も多く、次いで「64.1～72時間以下」17.9%、「72.1～80時間以下」15.2%の順となっています。

（回答施設：67）

夜勤時間数の分布	合計（人数）	割合
16時間以下	378	8.1%
16.1～32時間以下	341	7.3%
32.1～48時間以下	398	8.6%
48.1～64時間以下	997	21.5%
64.1～72時間以下	830	17.9%
72.1～80時間以下	704	15.2%
80.1～88時間以下	462	10.0%
88.1～96時間以下	290	6.2%
96.1～112時間以下	186	4.0%
112.1～144時間以下	51	1.1%
144.1～152時間以下	1	0.0%
152.1時間～	5	0.1%
合計	4,643	100.0%

(3) 最近1か月（平成23年7月）一般病棟 看護職員（非管理職・常勤換算）

一人あたり平均夜勤回数・看護職員数

一般病棟の看護職員（非管理職・常勤換算）の一人あたり平均夜勤回数の平均は、3交代制では8.36回、2交代制では4.75回となっています。

	3交代制平均夜勤回数		2交代制平均夜勤回数	
	件数	割合	件数	割合
1～2回未満	0	0.0%	1	3.0%
2～3回未満	0	0.0%	0	0.0%
3～4回未満	0	0.0%	4	12.1%
4～5回未満	0	0.0%	16	48.5%
5～6回未満	0	0.0%	9	27.3%
6～7回未満	2	6.1%	1	3.0%
7～8回未満	9	27.3%	0	0.0%
8～9回未満	15	45.5%	1	3.0%
9～10回未満	5	15.2%	0	0.0%
10回以上	2	6.1%	1	3.0%
計	33	100.0%	33	100.0%
平均値	8.36回		4.75回	
看護職員数	平均値	88.15人	平均値	37.48人
	合計値	2909.1人	合計値	1236.8人

(4) 一般病棟 看護職員の夜勤手当

一般病棟の看護職員の夜勤手当の平均をみると、「3交代制準夜勤」4,335円、「3交代制深夜勤」4,908円、「2交代制夜勤」10,414円、「当直(非管理職)」9,103円となっています。

	回答施設数	平均金額
1. 3交代制準夜勤	31	4,335
2. 3交代制深夜勤	30	4,908
3. 2交代制夜勤	33	10,414
4. 当直(非管理職)	12	9,103
5. 夜勤手当が定額で定められていない	7	—

注) 夜間割り増し分を除く定額分のみの金額、管理職の当直などは除く

問16 看護職員の夜勤に関する就業規則の有無

◎夜勤の就業規則における規制の有無

夜勤の就業規則における規制の有無について、「あり」と回答したのは、「1か月あたり夜勤回数に上限を設ける」31.1%、「1か月あたり夜勤時間に上限を設ける」26.6%、「1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける（3交代制）」18.4%、「1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける（2交代制）」20.4%、「次回勤務までの間隔設定」38.5%となっています。

就業規則 内容		計	あり	なし
1か月あたり夜勤回数に上限を設ける	件数	67	21	46
	割合	100.0%	31.3%	68.7%
1か月あたり夜勤時間に上限を設ける	件数	64	17	47
	割合	100.0%	26.6%	73.4%
1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける（3交代制）	件数	38	7	31
	割合	100.0%	18.4%	81.6%
1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける（2交代制）	件数	49	10	39
	割合	100.0%	20.4%	79.6%
次の勤務までに一定の間隔を設ける	件数	65	25	40
	割合	100.0%	38.5%	61.5%

◎夜勤の就業規則における規制の内容 1か月あたり夜勤回数に上限を設けている施設

「1か月あたり夜勤回数に上限を設ける」については、3交代制の平均値は8.3回、2交代制の平均値は8回となっています。

	3交代制		2交代制	
	件数	割合	件数	割合
～5回未満	0	0.0%	0	0.0%
5～6回未満	1	10.0%	0	0.0%
6～7回未満	0	0.0%	1	16.7%
7～8回未満	0	0.0%	2	33.3%
8～9回未満	6	60.0%	0	0.0%
9～10回未満	1	10.0%	2	33.3%
10～11回未満	1	10.0%	1	16.7%
11回以上	1	10.0%	0	0.0%
計	10	100.0%	6	100.0%
平均値		8.3回		8回

注) 3交代制と2交代制 両方を実施している病院を含んでいます。

◎夜勤の就業規則における規制の内容 1か月あたり夜勤時間に上限を設けている施設

「1か月あたり夜勤時間に上限を設ける」については「70～80時間未満」80.0%が最も多くなっています。

	件数	割合
～70時間未満	2	13.3%
70～80時間未満	12	80.0%
80～90時間未満	1	6.7%
90～100時間未満	0	0.0%
100～120時間未満	0	0.0%
120～140時間未満	0	0.0%
140時間以上	0	0.0%
計	15	100.0%
平均値		68.43時間

◎夜勤の就業規則における規制の内容 1日勤務時間について拘束時間に上限を設ける

(3交代制・2交代制)

「1日勤務時間について拘束時間に上限を設ける」について、3交代制では「15時間～20時間未満」が最も多くなっています。2交代制では「16～17時間未満」が最も多くなっています。

3交代制	件数	割合
8～9時間未満	2	40.0%
9～10時間未満	0	0.0%
10～15時間未満	0	0.0%
15時間～20時間未満	3	60.0%
計	5	100.0%
平均値		12.8時間
2交代制	件数	割合
～14時間未満	0	0.0%
14～15時間未満	0	0.0%
15～16時間未満	2	25.0%
16～17時間未満	6	75.0%
17～18時間未満	0	0.0%
18時間以上	0	0.0%
計	8	100.0%
平均値		15.88時間

◎夜勤の就業規則における規制の内容 次の勤務時間までに一定間隔を設ける

「次の勤務時間までに一定間隔を設ける」については「～10時間未満」39.1%が最も多くなっています。

	件数	割合
～10時間未満	9	39.1%
10～15時間未満	2	8.7%
15～20時間未満	2	8.7%
20～25時間未満	7	30.4%
25～30時間未満	0	0.0%
30～35時間未満	1	4.3%
35～40時間未満	0	0.0%
40～45時間未満	0	0.0%
45時間未満	2	8.7%
計	23	100.0%
平均値		18.22時間

問17 勤務表作成基準と夜勤負担軽減の取り組みについて

(1) 勤務表作成基準の設定

看護部または各病棟における勤務表作成基準を「設けている」と回答した病院は43.4%となっています。

勤務表作成基準	施設数	割合
設けている	33	43.4%
設けていない	29	38.2%
不明・無回答	14	18.4%
計	76	100.0%

(2) 夜勤負担軽減に盛り込まれている内容と2011年7月勤務表での実施状況

勤務表作成基準に「ローテーションは日勤→準夜勤→深夜の方向で組むようにしている」が盛り込まれている病院は27.3%となっています。そのうち、実施状況について、「実施できていた」と回答した病院は88.9%となっています。

勤務表作成基準に「1か月に数回は連続した2日間を完全な休みとする」が盛り込まれている病院は54.5%となっています。そのうち、実施状況について、「実施できていた」と回答した病院は94.4%となっています。

勤務表作成基準に「法令による休憩時間の遵守等、休憩・仮眠時間を確実に確保している」が盛り込まれている病院は75.8%となっています。そのうち、実施状況について、「実施できていた」と回答した病院は84.0%となっています。

	勤務表作成基準		
		件数	割合
ローテーションは日勤→準夜勤→深夜の方向で組むようにしている(三交代勤務の場合のみ)	盛り込まれている	9	27.3%
	盛り込まれていない	12	36.4%
	不明・無回答	12	36.4%
	計	33	100.0%
	実施状況		
	実施できていた	8	88.9%
	実施出来なかった	1	11.1%
	不明・無回答	0	—
	計	9	100.0%
	1か月に数回は連続した2日間を完全な休みとする	勤務表作成基準	
		件数	割合
盛り込まれている		18	54.5%
盛り込まれていない		13	39.4%
不明・無回答		2	6.1%
計		33	100.0%
実施状況			
実施できていた		17	94.4%
実施出来なかった		1	5.6%
不明・無回答		0	0.0%
計	18	100.0%	
法令による休憩時間の遵守等、休憩・仮眠時間を確実に確保している	勤務表作成基準		
		件数	割合
	盛り込まれている	25	75.8%
	盛り込まれていない	6	18.2%
	不明・無回答	2	6.1%
	計	33	100.0%
	実施状況		
	実施できていた	21	84.0%
	実施出来なかった	2	8.0%
	不明・無回答	2	8.0%
計	25	100.0%	
その他	連続勤務上限 連続休暇下限 禁止すべき勤務 準夜→日勤の禁止 勤務希望の回数は2回 ワークライフバランスを考え希望5回以内はOK 準夜勤→日勤は組まない		

調査先基本情報

○調査対象:三重県内の病院:102施設 ○調査回収数:76 施設(回収率 74.5%)

○施設所在地

【表1】施設所在地 施設数

所在地	施設数	割合
北勢	35	46.1%
中勢	24	31.6%
南勢	15	19.7%
東紀州	2	2.6%
合計	76	100.0%

○病床許可数 区分①

【表2】病床数区分① 施設数

病床許可数	施設数	割合
0 100床未満	24	31.6%
1 100~199床	10	13.2%
2 200~299床	22	28.9%
3 300~399床	9	11.8%
4 400~499床	6	7.9%
5 500床以上	3	3.9%
6 600床以上	2	2.6%
合計	76	100.0%

※病床数データ:平成23年度三重県病院協会会員名簿などによる

○病床許可数 区分②

【表3】病床数区分② 施設数

病床許可数	施設数	割合
199床以下	34	44.7%
200床以上	42	55.3%

○病床種別に応じた施設数

【表4】病床種別 施設数

病床種別	施設数	割合
一般	21	27.6%
一般・感染	4	5.3%
一般・結核	1	1.3%
一般・療養・結核・感染	27	35.5%
療養	10	13.2%
精神	10	13.2%
一般・精神・療養・精神	3	3.9%
合計	76	100.0%

○設置主体

【表5】設置主体 施設数

設置主体	施設数	割合
1 医療法人	34	44.7%
2 県・市町立	16	21.1%
3 厚生連	6	7.9%
4 独立行政法人	6	7.9%
5 個人	3	3.9%
6 財団	3	3.9%
7 国立大学法人	1	1.3%
8 日赤	1	1.3%
9 社保連	1	1.3%
10 学校法人	1	1.3%
11 社会福祉法人	2	2.6%
12 組合立	1	1.3%
13 医療生協	1	1.3%
合計	76	100.0%

○基本情報別にみた回収率

【表6】基本情報別にみた調査票回収率

単位：施設

区分	全施設数	回収	未回収	回収率
地区別	北勢	43	35	81.4%
	中勢	31	24	77.4%
	南勢	23	15	65.2%
	紀勢	5	2	40.0%
病床①	100床未満	41	24	58.5%
	100～199床	12	10	83.3%
	200～299床	26	22	84.6%
	300～399床	11	9	81.8%
	400～499床	6	6	100.0%
	500～599床	3	3	100.0%
	600床以上	3	2	66.7%
病床②	199床以下	53	34	64.2%
	200床以上	49	42	85.7%
病床種別	一般	27	21	77.8%
	一般・感染	4	4	100.0%
	一般・結核	1	1	100.0%
	一般・療養・結核・感染	35	27	77.1%
	療養	17	10	58.8%
	精神	13	10	76.9%
	一般・精神・療養・精神	5	3	60.0%
合計	102	78	28	74.5%

問1. 平成23年7月1日現在の看護職員 現員数 欠員数

【表7】看護職員数(総数) 回答施設=76

職数	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) E(A1+A2+B+C+D)	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	7590	588.43	8.92	3.21	66	252	101.25	197	862.5	533.31	464	121	8542.56	8421.56	1.4%
准看護師	1042	919.11	15.58	7.71	59	37	17.3	96	243.5	145.49	16	7	1307.79	1300.79	0.5%
助産師	175	111.80	9.32	2.72	12	1	0.6	2	10	5.20	16	3	185.80	182.80	1.6%
保健師	28	41.50	4.81	5.89	9	0	0	0	2	0.90	4	0	28.90	28.90	0.0%
不明回答												6	6.00	0.00	
合計	8835					280	119.15	295.0	1118.0	684.9	500.0	197.0	10071.05	9934.05	1.4%

【表8】看護職員数 北勢保健医療圏

北勢	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	3041	259.50	8.65	2.86	30	63	42.13	91	440.5	268.1	175	35	3477.2	3442.2	1.0%
准看護師	524	345.20	12.79	4.52	27	20	12.7	38	115.4	74.1	5	3	651.8	648.8	0.5%
助産師	61	44.80	8.98	2.20	5	1	0.6	1	9	4.9	3	3	70.5	67.5	4.3%
保健師	14	10.40	2.60	1.29	4	0	0	0	2	0.9	3	0	14.9	14.9	0.0%
不明回答												6	6.00	0.00	
合計	3840					84	55.43	130.0	568.8	348.0	186.0	47.0	4220.4	4173.4	1.1%

【表9】看護職員数 中勢伊賀保健医療圏

中勢	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	2309	184.18	9.21	3.14	20	155	33.72	56	250	150.9	141	26	2575.6	2549.6	1.0%
准看護師	286	314.21	18.48	6.33	17	16	4	11	56.1	27.2	6	4	332.2	328.2	1.2%
助産師	54	13.20	6.60	0.90	2	0	0	0	1	0.3	4	0	54.3	54.3	0.0%
保健師	3	7.00	3.50	2.00	2	0	0	0	0	0.0	1	0	3.0	3.0	0.0%
合計	2852					171	37.72	67.0	307.1	178.5	152.0	30.0	2865.2	2835.2	1.0%

【表10】看護職員数 南勢志摩保健医療圏

南勢	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	1991	119.45	8.53	3.83	14	33	24.5	42	169	112.9	142	50	2220.4	2170.4	2.3%
准看護師	184	217.80	16.75	9.81	13	1	0.6	41	70	42.8	4	0	268.4	268.4	0.0%
助産師	51	30.50	10.17	2.61	3	0	0	1	0	0.0	7	0	52.0	52.0	0.0%
保健師	11	24.10	8.03	9.02	3	0	0	0	0	0.0	0	0	11.0	11.0	0.0%
合計	2237					34	25.1	84.0	239.0	155.7	153.0	50.0	2551.8	2501.8	2.0%

【表11】看護職員数 東紀州保健医療圏

紀勢	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	249	25.30	12.65	0.25	2	1	0.9	8	3	1.4	6	10	269.3	259.3	3.7%
准看護師	48	41.90	20.95	6.85	2	0	0	6	2	1.4	1	0	55.4	55.4	0.0%
助産師	9	23.30	11.65	2.65	2	0	0	0	0	0.0	2	0	9.0	9.0	0.0%
保健師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
合計	306					1	0.9	14.0	5.0	2.8	9.0	10.0	333.7	323.7	3.0%

【表12】看護職員数 病床数区分① 100床未満

病床数100床未満	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	409	174.46	9.18	4.14	19	8	5.1	36	63	33.3	26	11	494.4	483.4	2.2%
准看護師	180	223.80	13.99	8.46	16	6	3.5	17	41	19.6	2	1	221.1	220.1	0.5%
助産師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
保健師	1					0	0	0	0	0.0	0	0	1.0	1.0	0.0%
合計	590					14	8.6	53	104.0	52.9	28	12	716.5	704.5	1.7%

【表13】看護職員数 病床数区分① 100～199床

病床数100～199床	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	527	76.00	8.44	2.59	9	130	21.2	18	116	67.2	27	16	649.4	833.4	2.5%
准看護師	145	120.70	13.41	2.99	9	21	7.7	7	46	23.5	0	0	183.2	183.2	0.0%
助産師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
保健師	7	10.10	3.37	1.64	3	0	0	0	0	0.0	1	0	7.0	7.0	0.0%
合計	679					151	28.9	25	162	90.7	28	16	839.6	823.6	1.9%

【表14】看護職員数 病床数区分① 200～299床

病床数200～299床	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	1931	172.87	8.64	3.05	20	36	17.72	48	234.5	155.8	106	26	2178.5	2152.5	1.2%
准看護師	397	247.71	13.76	6.12	18	2	1.2	28	66.4	42.4	6	8	474.6	468.8	1.3%
助産師	17	32.60	10.87	2.43	3	0	0	0	0	0.0	2	0	17.0	17.0	0.0%
保健師	7	6.80	3.40	0.60	2	0	0	0	2	0.9	3	0	7.9	7.9	0.0%
合計	2352					38	18.92	76	302.9	199.1	117	32	2678.0	2640.0	1.2%

【表15】看護職員数 病床数区分① 300～399床

病床数300～399床	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	1314	64.90	9.27	2.89	7	31	24.33	35	95	61.0	81	46	1480.3	1434.3	3.1%
准看護師	216	118.40	16.91	8.28	7	8	4.9	31	32.1	21.1	6	0	273.0	273.0	0.0%
助産師	14	8.40	8.40	0.00	1	0	0	0	2	1.7	0	0	15.7	15.7	0.0%
保健師	7	0.50	0.50	0.00	1	0	0	0	0	0.0	0	0	7.0	7.0	0.0%
合計	1551					39	29.23	66	129.1	83.8	87	46	1776.0	1730.0	2.6%

【表16】看護職員数 病床数区分① 400～499床

病床数400～499床	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	1545	55.20	9.20	1.70	6	36	25.6	25	176	109.1	95	22	1726.7	1704.7	1.3%
准看護師	64	107.70	21.54	6.65	5	0	0	10	42	30.2	2	0	104.2	104.2	0.0%
助産師	50	40.60	10.15	3.01	4	1	0.6	1	4	2.1	1	3	58.7	53.7	5.3%
保健師	5	21.10	10.55	10.15	2	0	0	0	0	0.0	0	0	5.0	5.0	0.0%
不明回答												6	6.00	0.00	
合計	1684					37	26.2	36	222	141.4	98	31	1895.6	1867.6	1.6%

【表17】看護職員数 病床数区分① 500～599床

病床数500床以上	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	893	26.30	8.77	2.85	3	3	1.9	27	95	57.5	54	0	979.4	979.4	0.0%
准看護師	34	53.50	26.75	9.75	2	0	0	3	12	6.4	0	0	43.4	43.4	0.0%
助産師	57	12.40	6.20	0.50	2	0	0	1	3	1.1	4	0	59.1	59.1	0.0%
保健師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
合計	984					3	1.9	31	110	65.0	58	0	1081.9	1081.9	0.0%

【表18】看護職員数 病床数区分① 600床以上

病床数600床以上	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	971	18.70	9.35	1.35	2	8	5.4	8	83	49.4	75	0	1033.8	1033.8	0.0%
准看護師	6	47.30	23.65	0.85	2	0	0	0	4	2.3	0	0	8.3	8.3	0.0%
助産師	37	17.80	8.90	1.40	2	0	0	0	1	0.3	9	0	37.3	37.3	0.0%
保健師	1	3.00	3.00	0.00	1	0	0	0	0	0.0	0	0	1.0	1.0	0.0%
合計	1015					8	5.4	8	88	52.0	84	0	1080.4	1080.4	0.0%

【表19】看護職員数 病床数区分② 199床以下

病床許可数199床以下	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	936	250.46	8.95	3.72	28	138	26.3	54	179	100.5	53	27	1143.8	1116.8	2.4%
准看護師	325	344.50	13.78	7.01	25	27	11.2	24	87	43.1	2	1	404.3	403.3	0.2%
助産師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
保健師	8	10.10	3.37	1.64	3	0	0	0	0	0.0	1	0	8.0	8.0	0.0%
合計	1269					165	37.5	78	266	143.6	56	28	1556.1	1526.1	1.8%

【表20】看護職員数 病床数区分② 200床以上

病床許可数200床以上	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤務年数計	平均勤務年数	標準偏差	回答総数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	6654	337.97	8.89	2.78	38	114	74.95	143	683.5	432.8	411	94	7398.8	7304.8	1.3%
准看護師	717	574.61	16.90	7.93	34	10	6.1	72	156.5	102.4	14	6	903.5	897.5	0.7%
助産師	175	111.80	9.32	2.72	12	1	0.6	2	10	5.2	16	3	185.8	182.8	1.6%
保健師	20	31.40	5.23	7.04	6	0	0	0	2	0.9	3	0	20.9	20.9	0.0%
不明回答												6	6.00	0.00	
合計	7586					125	81.65	217	852.0	541.3	444	109	8508.0	8406.0	1.3%

【表21】7対1入院基本料 取得施設(20施設)

7対1取得	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	4105	170.00	8.95	2.96	19	76	52.55	94	472	300.6	298	62	4614.2	4552.2	1.3%
准看護師	175	257.70	18.41	8.79	14	0	0	52	97	66.2	1	0	293.2	293.2	0.0%
助産師	147	81.00	9.00	2.58	9	1	0.6	2	9	4.9	12	3	157.5	154.5	1.9%
保健師	20	32.40	5.40	6.94	6	0	0	0	2	0.9	3	0	20.9	20.9	0.0%
不明回答												6	6.0	0.0	
合計	4447					77	53.16	148	580	372.6	314	71	5091.6	5020.8	1.4%

【表22】7対1入院基本料 取得していない施設(56施設)

7対1以外	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	3485	418.43	8.90	3.31	47	176	48.7	103	390.5	232.7	166	59	3928.4	3963.4	1.5%
准看護師	867	661.41	14.70	7.11	45	37	17.3	44	146.5	79.3	15	7	1014.6	1007.6	0.7%
助産師	28	30.80	10.27	2.92	3	0	0	0	1	0.3	4	0	28.3	28.3	0.0%
保健師	8	9.10	3.03	2.04	3	0	0	0	0	0.0	1	0	8.0	8.0	0.0%
合計	4388					213	66	147	538.0	312.3	186	66	4979.3	4913.3	1.3%

【表23】病床種別 一般

病床種別 一般	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	2329	149.80	8.32	1.37	18	42	30.62	36	348	214.4	157	29	2639.0	2610.0	1.1%
准看護師	159	191.40	14.72	8.15	13	4	2	20	60	38.9	1	0	219.9	219.9	0.0%
助産師	45	36.90	9.23	2.58	4	0	0	1	4	2.1	0	3	51.1	48.1	5.9%
保健師	14	28.40	5.68	0.00	5	0	0	0	1	0.3	3	0	14.3	14.3	0.0%
合計	2547					46	32.82	57	413.0	255.7	161	32	2924.3	2892.3	1.1%

【表24】病床種別 一般・療養他(感染・結核病床を含む)

病床種別 一般・療養	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	3851	263.45	9.08	3.26	29	200	63.93	124	355	222.0	252	80	4340.9	4260.9	1.8%
准看護師	548	427.70	15.84	7.19	27	24	8.4	63	133.1	77.5	12	4	700.9	696.9	0.6%
助産師	111	67.40	9.63	2.92	7	1	0.6	1	5	2.8	14	0	115.4	115.4	0.0%
保健師	14	13.10	3.28	1.43	4	0	0	0	1	0.6	1	0	14.6	14.6	0.0%
不明回答												6	6.0	0.0	
合計	4524					225	72.93	188	494.1	302.9	278	90	5171.8	5087.8	1.7%

【表25】病床種別 療養

病床種別 療養	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	92	47.96	7.88	3.15	6	1	0.8	4	32	15.7	4	9	121.5	112.5	7.4%
准看護師	71	59.50	9.92	4.39	6	1	0.9	4	26	12.2	0	1	89.1	88.1	1.1%
助産師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
保健師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
合計	163					2	1.7	8	58.0	27.9	4	10	210.6	200.6	4.7%

【表26】病床種別 精神

病床種別 精神	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	786	103.82	9.44	3.24	11	9	5.9	14	33.5	22.6	25	3	831.5	828.5	0.4%
准看護師	217	184.21	16.75	8.05	11	8	6	5	16.4	11.0	3	2	241.0	239.0	0.8%
助産師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
保健師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
合計	1003					17	11.9	19	49.9	33.6	28	5	1072.5	1067.5	0.5%

【表27】病床種別 一般・精神・療養・精神

病床種別 一般・精神	常勤(人) A1	年				短時間正職員		非常勤(人) B	パート・アルバイト(人)		休職・休業 (人)	欠員数(人) D	必要数(人) A1+A2+B+C+D	現員数(人) A1+A2+B+C	不足率 D/E
		平均勤続年数計	平均勤続年数	標準偏差	回答施設数	実人員	常勤換算 A2		実人員	常勤換算 C					
看護師	532	23.40	11.70	3.70	2	0	0	19	94	58.6	26	0	609.6	609.6	0.0%
准看護師	47	58.30	28.15	5.15	2	0	0	4	8	5.9	0	0	56.9	56.9	0.0%
助産師	19	7.50	7.50	0.00	1	0	0	0	1	0.3	2	0	19.3	19.3	0.0%
保健師	0					0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	
合計	598					0	0	23	103.0	64.8	28	0	685.6	685.6	0.0%

【表28】各区分別 平均勤務年数

単位:年

平均勤務年数	区分	看護師	准看護師	助産師	保健師
地区別	北勢	8.65	12.79	8.96	2.60
	中勢伊賀	9.21	18.48	6.60	3.50
	南勢志摩	8.53	16.75	10.17	8.03
	東紀州	12.65	20.95	11.65	
病床数1	100床未満	9.18	13.99		
	100～199床	8.44	13.41		3.37
	200～299床	8.64	13.76	10.87	3.40
	300～399床	9.27	16.91	8.40	0.50
	400～499床	9.20	21.54	10.15	10.55
	500～599床	8.77	26.75	8.20	
病床数2	600床以上	9.35	23.65	8.90	3.00
	199床以下	8.95	13.78		3.37
入院基本料7対1取得	200床以上	8.89	16.90	9.32	5.23
	取得施設	8.90	14.70	10.27	3.03
	取得なし	8.95	18.41	9.00	5.40
合計		8.92	15.58	9.32	4.61

【表29】病床種別にみた100床あたりの看護師数 単位:人

病床種別	許可病床数	現員数	100床当たり	現員数	100床当たり	
		看護師	看護師数	准看護師	准看護師数	
一般	3859	2610.0	67.6	219.9	5.7	
療養	574	112.5	19.6	88.1	15.3	
精神	3128	828.5	26.5	239.0	7.6	
一般・療養+感染・結核	8136	4260.92	52.4	696.9	8.6	
一般・精神 療養・精神	1271	609.6	48.0	56.9	4.5	
合計		19988	8421.56	49.6	1300.79	7.7

※看護師数/病床数×100

問2. 看護職員を補充したいと考えている部分について

【表30】看護職員を補充したい部分 回答施設数71

単位:施設

内容	常勤	非常勤	パート・アルバイト	
			数	
1 患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員	54	12	9	
2 フルタイムで働ける職員(夜勤専従)	24	15	5	
	フルタイムで働ける職員(土日祝のみ)	8	7	8
	フルタイムで働ける職員(日勤のみ)	15	11	5
3 有給休暇取得(年次休暇・下記休暇などの)取得率を上げるために勤務する職員	20	11	4	
4 研修による人員不足を補充するための職員	16	9	5	
5 産休・育休・退職者の補充をするための職員	35	12	4	
6 休床再開のための職員	6	0	0	
7 新人研修を実施するために必要な職員	15	8	3	
8 人員不足となる時間帯を補充する短時間勤務職員	0	9	13	
その他	2	1	1	

【表31】看護職員を補充したい部分 問1で欠員がある19施設の回答

単位:施設

内容	常勤	非常勤	パート・アルバイト	
			数	
1 患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員	16	2	1	
2 フルタイムで働ける職員(夜勤専従)	8	5	1	
	フルタイムで働ける職員(土日祝のみ)	2	4	3
	フルタイムで働ける職員(日勤のみ)	5	4	2
3 有給休暇取得(年次休暇・下記休暇などの)取得率を上げるために勤務する職員	7	4	1	
4 研修による人員不足を補充するための職員	4	3	0	
5 産休・育休・退職者の補充をするための職員	11	2	0	
6 休床再開のための職員	2	0	0	
7 新人研修を実施するために必要な職員	4	3	1	
8 人員不足となる時間帯を補充する短時間勤務職員	0	3	2	
その他	1	1	1	

問3. 平成23年度採用の看護職員(新卒採用者)の退職者数

【表32】平成23年度新卒採用者の退職者数 単位:人

退職者数				
看護師	准看護師	助産師	保健師	合計
15	2	0	0	17

【表33】回答施設数 単位:施設

回答施設数				
看護師	准看護師	助産師	保健師	合計
9	2	0	0	11

問4. 平成22年度の採用、退職者数

採用人数・退職者数について
 総数 回答施設数=73

【表34】平成22年度採用者の退職者数 単位:人

総数	募集人数		採用人数				退職者数				常勤者 新卒採用者の 退職率
	常勤(人)	非常勤(人)	うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		新卒採用者の 退職率		
			常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)			
看護師	648	37	841	262	473	2	720	187	19	2	4.0%
准看護師	22	9	75	43	20	4	92	42	1	1	5.0%
助産師	25	0	12	1	10	0	13	2	1	0	10.0%
保健師	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	695	46	828	306	503	6	825	231	21	3	4.2%

有効回答数 回答施設数=47

【表35】平成22年度採用者の退職者数 有効回答分 単位:人

有効回答 (47)	募集人数(回答施設47)		採用人数				退職者数				常勤者 新卒採用者の 退職率
	常勤(人)	非常勤(人)	うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		新卒採用者の 退職率		
			常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)			
看護師	648	37	598	180	336	1	506	137	14	1	4.2%
准看護師	22	9	44	26	12	3	50	28	1	1	8.3%
助産師	25	0	9	0	7	0	9	0	1	0	14.3%
保健師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	695	46	651	206	355	4	565	165	16	2	4.5%

【表36】平成22年度採用者の退職者数 有効回答分 病床数199床以下(19施設) 単位:人

病床数 199床以下	募集人数		採用人数				退職者数				常勤者 新卒採用者の 退職率
	常勤(人)	非常勤(人)	うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		新卒採用者の 退職率		
			常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)			
看護師	81	13	99	26	45	1	48	16	3	0	6.7%
准看護師	3	3	17	14	6	2	15	7	1	1	16.7%
助産師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
保健師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	84	16	118	40	51	3	63	23	4	1	7.8%

【表37】平成22年度採用者の退職者数 有効回答分 病床数200床以上(28施設) 単位:人

病床数 200床以上	募集人数		採用人数				退職者数				常勤者 新卒採用者の 退職率
	常勤(人)	非常勤(人)	うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		新卒採用者の 退職率		
			常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)			
看護師	567	24	499	154	291	0	458	121	11	1	3.8%
准看護師	19	6	27	12	6	1	35	21	0	0	0.0%
助産師	25	0	9	0	7	0	9	0	1	0	14.3%
保健師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	611	30	535	166	304	1	502	142	12	1	3.9%

【表38】平成22年度 常勤看護師採用人数内訳

施設数=45 単位:人

看護職員	採用人数	新卒採用数	既卒採用数	新卒割合	既卒割合
199床以下	99	45	54	45.5%	54.5%
200床以上	499	291	208	58.3%	41.7%
合計	598	336	262	56.2%	43.8%

新卒採用施設/新卒採用者について

【表39】平成22年度採用を行った68施設における、採用人数及び新卒採用人数 / 採用施設数及び新卒採用施設数
採用施設数=68

看護職員	採用人数				新卒採用率		退職者数				常勤者 新卒採用者の 退職率
	うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者		うち22年度新卒採用者				
	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)			
看護師	841	262	473	2	56.2%	0.8%	716	187	19	2	4.0%
准看護師	75	43	20	4	26.7%	9.3%	91	40	1	1	5.0%
助産師	12	1	10	0	83.3%	0.0%	13	2	1	0	10.0%
保健師	1	0	0	0	0.0%	-	0	0	0	0	-
計	929	306	503	6	54.1%	2.0%	820	229	21	3	4.2%
採用施設数	68				50		73.5%				

【表40】199床以下の施設 採用人数のうち新卒採用者の割合(26施設) 単位:人

看護職員	採用人数		うち新卒採用者数		採用者のうち新卒の割合	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
看護師	123	44	52	1	42.3%	2.3%
准看護師	23	20	6	3	26.1%	15.0%
助産師	0	0	0	0	-	-
保健師	0	0	0	0	-	-
合計	146	64	58	4	39.7%	6.3%

【表41】200～299床の施設 採用人数のうち新卒採用者の割合(22施設) 単位:人

看護職員	採用人数		うち新卒採用者数		採用者のうち新卒の割合	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
看護師	236	95	115	0	48.7%	0.0%
准看護師	34	14	9	0	26.5%	0.0%
助産師	0	1	0	0	-	-
保健師	0	0	0	0	-	-
合計	270	110	124	0	45.9%	0.0%

【表42】300床以上の施設 採用人数のうち新卒採用者の割合(20施設) 単位:人

看護職員	採用人数		うち新卒採用者数		採用者のうち新卒の割合	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
看護師	482	123	306	1	63.5%	0.8%
准看護師	18	9	5	1	27.8%	11.1%
助産師	12	0	10	0	83.3%	-
保健師	1	0	0	0	0.0%	-
合計	513	132	321	2	62.6%	1.5%

【表43】看護師採用者のうち新卒採用者の割合

採用施設数=67

単位:人

看護師	採用数		新卒採用数		新卒者の割合	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
199床以下	123	44	52	1	42.3%	2.3%
200～299床	236	95	115	0	48.7%	0.0%
300床以上	482	123	306	1	63.5%	0.8%
合計	841	262	473	2	56.2%	0.8%

問5. 平成22年度の退職者の理由別人数について

【表44】平成22年度退職者 退職理由 回答施設数=71

単位:人	看護師		准看護師		助産師		保健師		合計	
	退職者数	22年度新卒	退職者数	22年度新卒	退職者数	22年度新卒	退職者数	22年度新卒	退職者数	22年度新卒
退職者数	666	18	69	1	12	1	0	0	747	20
1他の医療機関への転職	136	4	11	1	3	0	0	0	150	5
2結婚	112	1	1	0	0	0	0	0	113	1
3出産・育児	63	1	1	0	2	1	0	0	66	2
4子どものため	18	1	0	0	2	0	0	0	20	1
5進学	18	0	7	0	1	0	0	0	26	0
6転勤・転居	42	0	6	0	0	0	0	0	48	0
7家族の健康・介護	38	2	6	0	1	0	0	0	45	2
8本人の身体的健康理由	51	4	10	0	1	0	0	0	62	4
9本人の精神的健康理由	37	4	4	0	0	0	0	0	41	4
10他の職種への転職	17	0	0	0	0	0	0	0	17	0
11看護内容への不満	8	0	1	0	0	0	0	0	9	0
12労働条件への不満	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0
13人間関係	14	1	2	0	1	0	0	0	17	1
14定年・契約期間満了	47	0	19	0	0	0	0	0	66	0
その他	57	0	1	0	1	0	0	0	59	0

※問4と問512回答施設数が違うため退職者数が異なります。

【表45】退職理由 総数退職者数順位 割合

順位	合計		割合
	退職理由	退職者数	
1	他の医療機関への転職	150	20.1%
2	結婚	113	15.1%
3	出産・育児	66	8.8%
4	定年・契約期間満了	66	8.8%
5	本人の身体的健康理由	62	8.3%
6	転勤・転居	48	6.4%
7	家族の健康・介護	45	6.0%
8	本人の精神的健康理由	41	5.5%
9	進学	26	3.5%
10	子どものため	20	2.7%
11	他の職種への転職	17	2.3%
12	人間関係	17	2.3%
12	看護内容への不満	9	1.2%
14	労働条件への不満	8	1.1%
	その他	59	7.9%

【表46】退職理由 総数新卒退職者数順位 割合

順位	総数・新卒		割合
	退職理由	新卒退職者数	
1	他の医療機関への転職	20	100.0%
2	本人の身体的健康理由	5	25.0%
3	本人の精神的健康理由	4	20.0%
4	出産・育児	2	10.0%
5	家族の健康・介護	2	10.0%
6	結婚	1	5.0%
7	子どものため	1	5.0%
8	人間関係	1	5.0%
9	進学	0	0.0%
10	転勤・転居	0	0.0%
11	他の職種への転職	0	0.0%
12	看護内容への不満	0	0.0%
13	労働条件への不満	0	0.0%
14	定年・契約期間満了	0	0.0%
	その他	0	0.0%

【表47】退職理由 看護師退職者数順位 割合

順位	看護師		割合
	退職理由	退職者数	
1	他の医療機関への転職	136	20.4%
2	結婚	112	16.8%
3	出産・育児	63	9.5%
4	本人の身体的健康理由	51	7.7%
5	定年・契約期間満了	47	7.1%
6	転勤・転居	42	6.3%
7	家族の健康・介護	38	5.7%
8	本人の精神的健康理由	37	5.6%
9	子どものため	18	2.7%
10	進学	18	2.7%
11	他の職種への転職	17	2.6%
12	人間関係	14	2.1%
13	看護内容への不満	8	1.2%
14	労働条件への不満	8	1.2%
	その他	57	8.6%

【表48】退職理由 看護師新卒退職者数順位 割合

順位	看護師・新卒		割合
	退職理由	退職者数	
1	他の医療機関への転職	4	22.2%
2	本人の身体的健康理由	4	22.2%
3	本人の精神的健康理由	4	22.2%
4	家族の健康・介護	2	11.1%
5	結婚	1	5.6%
6	出産・育児	1	5.6%
7	子どものため	1	5.6%
8	人間関係	1	5.6%
9	定年・契約期間満了	0	0.0%
10	転勤・転居	0	0.0%
11	進学	0	0.0%
12	他の職種への転職	0	0.0%
13	看護内容への不満	0	0.0%
14	労働条件への不満	0	0.0%
	その他	0	0.0%

問6. 採用後1～5年までの新卒看護職員の現時点における職場定着状況について
 (総数)

【表49】病床数別 職場定着率(%)総数 施設数=採用数、定着数共に記入のあった60施設

採用年度(採用後年数)	199床以下	200～299床	300床以上
22年度(1年)	91.8%	95.2%	93.3%
21年度(2年)	82.5%	80.4%	81.2%
20年度(3年)	70.9%	73.7%	76.7%
19年度(4年)	52.0%	67.8%	65.3%
18年度(5年)	43.1%	54.7%	56.0%

【表50】病床数別 採用者数・定着者数(総数)60施設

総数	199床以下(21施設)			200～299床(19施設)			300床以上(20施設)			総数(60施設)		
	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率
平成22年度	61	56	91.8%	124	118	95.2%	321	298	92.8%	506	472	93.3%
平成21年度	57	47	82.5%	102	82	80.4%	361	293	81.2%	520	422	81.2%
平成20年度	55	39	70.9%	95	70	73.7%	352	276	78.4%	502	385	76.7%
平成19年度	50	26	52.0%	87	59	67.8%	338	225	66.6%	475	310	65.3%
平成18年度	51	22	43.1%	95	52	54.7%	322	188	58.4%	468	262	56.0%

(看護師)

【表51】病床数別 職場定着率(%)看護師 施設数=57

採用年度(採用後年数)	199床以下	200～299床	300床以上
22年度(1年)	92.7%	94.8%	93.5%
21年度(2年)	83.0%	84.6%	81.6%
20年度(3年)	71.2%	75.0%	78.9%
19年度(4年)	47.7%	70.0%	66.9%
18年度(5年)	40.9%	56.2%	59.2%

【表52】病床数別 採用者数・定着者数(看護師)47施設

看護師	199床以下(19施設)			200～299床(18施設)			300床以上(20施設)			看護師総数(57施設)		
	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率
平成22年度	55	51	92.7%	115	109	94.8%	306	286	93.5%	476	446	93.7%
平成21年度	47	39	83.0%	91	77	84.6%	348	284	81.6%	486	400	82.3%
平成20年度	52	37	71.2%	88	66	75.0%	336	265	78.9%	476	368	77.3%
平成19年度	44	21	47.7%	80	56	70.0%	332	222	66.9%	456	299	65.6%
平成18年度	44	18	40.9%	89	50	56.2%	306	181	59.2%	439	249	56.7%

(准看護師)

【表53】病床数別 職場定着率(%)准看護師 施設数=24

採用年度(採用後年数)	199床以下	200～299床	300床以上
22年度(1年)	83.3%	100.0%	80.0%
21年度(2年)	80.0%	50.0%	100.0%
20年度(3年)	66.7%	57.1%	87.5%
19年度(4年)	80.0%	42.9%	50.0%
18年度(5年)	57.1%	33.3%	33.3%

【表54】病床数別 採用者数・定着者数(准看護師) 施設

准看護師	199床以下(8施設)			200～299床(9施設)			300床以上(7施設)			准看護師総数(24施設)		
	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率
平成22年度	6	5	83.3%	9	9	100.0%	5	4	80.0%	20	18	90.0%
平成21年度	10	8	80.0%	10	5	50.0%	4	4	100.0%	24	17	70.8%
平成20年度	3	2	66.7%	7	4	57.1%	8	7	87.5%	18	13	72.2%
平成19年度	5	4	80.0%	7	3	42.9%	2	1	50.0%	14	8	57.1%
平成18年度	7	4	57.1%	6	2	33.3%	3	1	33.3%	16	7	43.8%

【助産師】

【表55】病床数別 職場定着率(%)助産師 施設数=9施設

採用年度(採用後年数)	199床以下	200~299床	300床以上
22年度(1年)	-	-	80.0%
21年度(2年)	-	-	55.6%
20年度(3年)	-	-	50.0%
19年度(4年)	-	-	50.0%
18年度(5年)	-	-	46.2%

【表56】病床数別 採用者数・定着者数(助産師) 施設

助産師	199床以下			200~299床			300床以上(9施設)			助産師総数(9施設)		
	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率
平成22年度	-	-	-	-	-	-	10	8	80.0%	10	8	80.0%
平成21年度	-	-	-	-	-	-	9	5	55.6%	9	5	55.6%
平成20年度	-	-	-	-	-	-	8	4	50.0%	8	4	50.0%
平成19年度	-	-	-	-	-	-	4	2	50.0%	4	2	50.0%
平成18年度	-	-	-	-	-	-	13	6	46.2%	13	6	46.2%

【保健師】

【表57】病床数別 職場定着率(%)保健師 施設数=2

採用年度(採用後年数)	199床以下	200~299床	300床以上
22年度(1年)	-	-	-
21年度(2年)	-	0.0%	-
20年度(3年)	-	-	-
19年度(4年)	100.0%	-	-
18年度(5年)	-	-	-

【表58】病床数別 採用者数・定着者数(保健師)63施設

助産師	199床以下			200~299床			300床以上			保健師総数(2施設)		
	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率	採用者数	定着者数	定着率
平成22年度	0	0	-	0	0	-	-	-	-	0	0	-
平成21年度	0	0	-	1	0	0.0%	-	-	-	1	0	0.0%
平成20年度	0	0	-	0	0	-	-	-	-	0	0	-
平成19年度	1	1	100.0%	0	0	-	-	-	-	1	1	100.0%
平成18年度	0	0	-	0	0	-	-	-	-	0	0	-

問7. 看護職員における今後の増員・減員の予定について(回答施設数の割合)

(1)今後3年間に於ける、増員・減員の予定

【表59】増員・減員予定施設 単位:施設

1	増員の予定がある	50	66.7%
2	減員の予定がある	2	2.7%
3	増員・減員の予定はない	15	20.0%
4	分からない	8	10.7%
合計		75	100.0%

(2)「増員の予定がある」施設の増員が見込まれる理由(複数回答)

★増員予定あり=50施設 回答施設数の割合

【表60】増員見込理由 施設数=50 単位:施設

1	病床の増加	7	14.0%
2	外来部門の充実	15	30.0%
3	受診者数の増加	3	6.0%
4	夜勤体制の充実	32	64.0%
5	訪問看護部門の強化	10	20.0%
6	看護業務の増加	24	48.0%
7	診療報酬に伴う看護職員配置基準の見直し	20	40.0%
8	看護職員研修の充実	18	36.0%
9	その他	5	10.0%

(3)「減員の予定がある」施設の減員が見込まれる理由(複数回答) ★減員予定あり=2施設

【表61】減員見込理由 単位:施設

1	病床の減少(病床閉鎖を含む)	2
2	診療科目の見直し	0
3	看護職員配置の見直し	0
4	看護業務の効率化(IT化等)	0
5	その他	0

問8.「多様な勤務形態」の導入について

【表62】「多様な勤務形態」の導入について

取組内容	導入している		現在検討中		検討予定なし		合計
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数
1 週末または月のうちの勤務日数を減らす勤務形態	30	46.2	4	6.2	36	55.4	70
2 1日のうちの勤務時間数が選択できる勤務形態	30	46.2	3	4.6	35	53.8	68
3 フレックス制	9	15.3	9	15.3	45	76.3	63
4 同一の病棟内においても2交代・3交代の選択ができ	10	15.9	11	17.5	42	66.7	63

問9. 看護職員の確保・定着のために取り組んでいるものについて

【表63】 看護職員の確保・定着のために取り組んでいるものについて(回答施設数:65)

取組内容	取り組んでいる		効果があった		効果/取組	
	施設数	順位	施設数	順位	%	順位
病院・看護部門の理念や方針の周知	39	9位	0	28位	0.0	28位
プリセプター制の導入	42	7位	12	4位	28.6	5位
サポーター制の導入	11	31位	0	28位	0.0	28位
人員増や人員配置の工夫などによる勤務態勢の改善	37	11位	8	8位	21.6	11位
残業・休日出勤削減への取り組み	33	14位	7	10位	21.2	13位
新卒看護職員の夜勤従事時期の遅延導入	27	17位	2	22位	7.4	26位
全看護職員対象の教育研修体制の充実	45	4位	8	8位	17.8	17位
全看護職員対象の教育・研修担当者の配置	23	19位	0	28位	0.0	28位
新人看護職員研修体制の充実	45	4位	11	6位	24.4	9位
キャリア開発研修のための身分保障	22	21位	4	16位	18.2	16位
キャリア開発研修のための費用負担	32	15位	7	10位	21.9	10位
医療安全対策の充実	47	2位	5	14位	10.6	21位
職場の暴力対策・相談体制の充実	17	25位	0	28位	0.0	28位
採用年齢制限の引き上げ・撤廃	21	22位	4	16位	19.0	14位
夜勤専従・パート・短時間勤務導入などによる多様な勤務形態の導入	43	6位	19	2位	44.2	4位
定年の引き上げ・廃止	6	33位	3	18位	50.0	2位
定年後の継続雇用制度の導入による定年退職者の再雇用増	41	8位	11	6位	26.8	6位
給与・手当の改善	20	23位	5	14位	25.0	8位
院内保育の充実	31	16位	18	3位	58.1	1位
院内学童保育の充実	2	36位	0	28位	0.0	28位
宿舎の確保	24	18位	2	22位	8.3	22位
親・子・配偶者の介護支援	23	19位	3	18位	13.0	20位
リフレッシュ休暇などの長期休暇	12	29位	1	25位	8.3	22位
育児休業制度の充実	38	10位	7	10位	18.4	15位
乳幼児健診休暇	3	35位	0	28位	0.0	28位
子どもの病気などの看護休暇	36	12位	3	18位	8.3	22位
子どもの夏休み期間中の休暇	12	29位	1	25位	8.3	22位
男性の育児取得を推進	15	26位	0	28位	0.0	28位
メンタルヘルス相談体制の充実	19	24位	1	25位	5.3	27位
潜在看護職員の採用増	15	26位	2	22位	13.3	19位
再雇用・育児・介護休暇からの復帰支援ツールの導入	6	33位	0	28位	0.0	28位
育児などを理由に退職した者の優先的再雇用	10	32位	0	28位	0.0	28位
病院広報の充実	35	13位	6	13位	17.1	18位
学生実習の受け入れ	46	3位	12	4位	26.1	7位
職場体験型インターンシップの導入	14	28位	3	18位	21.4	12位
奨学金制度の実施	48	1位	23	1位	47.9	3位

問10. 看護職員確保に向け、潜在看護職員の再就業に向けた研修の実施状況について

(1) 実施状況について

【表64】 潜在看護職員向け研修の実施状況について(回答施設数:75)

内容	施設数	割合
すでに実施している	12	16.2
今後、実施予定である	8	10.8
実施する予定はない	55	74.3
合計	75	

(2) 「すでに実施している」施設の取組状況について

【表65】 潜在看護職員向け研修の平成22年度の取り組み・実施および平成23年度の計画

年度	回数					1回の研修日数				申込者(見込)数				参加者(見込)数				就業者(見込)数			
	平均	最大	最小	回答施設数	随時開催施設	平均	最大	最小	回答施設数	平均	最大	最小	回答施設数	平均	最大	最小	回答施設数	平均	最大	最小	回答施設数
H22年度	1.4	2	1	10	2	2.3	5	1	10	5.3	18	1	10	4.8	18	1	10	1.9	5	1	7
H23年度	2.6	6	1	7	2	2.3	4	1	8	6.6	12	1	5	6.6	12	1	5	2.2	6	1	5

★ 最小値については、0を除いた数値である。

問11. 認定看護師、専門看護師の配置状況

(1) 配置状況

【表66】 認定看護師・専門看護師の配置状況(人数)

種類	人数
認定看護師(有効回答24施設)	98
専門看護師(有効回答7施設)	11
合計	109

【表67】 認定看護師・専門看護師の配置状況(施設数)

配置状況	施設数	%
認定のみ配置	17	22.4
専門のみ配置	0	0.0
両方とも配置	7	9.2
どちらもいない	52	68.4
合計	76	

★有効回答ではない施設は「どちらもいない」として計算した

【表68】 認定看護師・専門看護師の配置状況(病床数別人数)

病床数 (n=施設数)	500床～ (n=4)	400床～ (n=4)	300床～ (n=5)	200床～ (n=4)	100床～ (n=3)	99床～ (n=3)	合計
認定看護師	37	26	14	13	4	4	98
専門看護師	5	2	2	0	2	0	11
合計	42	28	16	13	6	4	109

【表69】 認定看護師の分野別取得者数(有効回答施設数:24)

項目	人数	順位
感染管理	13	2位
皮膚・排泄ケア	17	1位
緩和ケア	7	7位
集中ケア	8	5位
がん化学療法看護	11	3位
がん性疼痛看護	9	4位
救急看護	7	7位
糖尿病看護	8	5位
透析看護	3	10位
手術看護	3	10位
摂食・嚥下障害看護	5	9位
不妊症看護	1	14位
新生児集中ケア	1	14位
認知症看護	3	10位
脳卒中リハビリテーション看護	2	13位
合計	98	

【表70】 専門看護師の分野別取得者数(有効回答施設数:7)

項目	人数
がん看護	6
精神看護	3
地域看護	0
老人看護	0
小児看護	1
母性看護	1
慢性疾患看護	0
急性・重症患者看護	0
感染症看護	0
家族支援	0
合計	11

(2) 今後取得したい分野

【表71】 今後取得したい認定看護師の分野

項目	施設数	順位
感染管理	31	1
皮膚・排泄ケア	16	2
緩和ケア	5	11
集中ケア	4	12
がん化学療法看護	9	6
がん性疼痛看護	8	8
救急看護	6	10
糖尿病看護	11	4
透析看護	9	6
手術看護	3	13
摂食・嚥下障害看護	11	4
不妊症看護	0	15
新生児集中ケア	3	13
認知症看護	15	3
脳卒中リハビリテーション看護	7	9

【表72】 今後取得したい専門看護師の分野

項目	施設数
がん看護	5
精神看護	4
地域看護	0
老人看護	2
小児看護	2
母性看護	0
慢性疾患看護	1
急性・重症患者看護	1
感染症看護	0
家族支援	1

問12. 看護職員のキャリアアップ等へのサポート体制

(1)-① 認定看護師資格取得のための研修費用の経費について

【表73】 認定看護師資格取得のための研修費用(回答施設数:57)

項目	施設数	%
本人が全額負担する	8	14.0
病院が一部負担する	23	40.4
病院が全額負担する	26	45.6
合計	57	

(1)-② 認定看護師資格取得研修参加時の身分の取り扱いについて

【表74】 認定看護師資格取得研修参加時の身分の取り扱い(回答施設数:61)

項目(複数回答)	施設数	%
出張	43	70.5
職務専念義務免除	9	14.8
休職	6	9.8
その他	3	4.9
合計	61	

(2)-① 専門看護師教育課程を履修するにあたっての履修に係る経費負担について

【表75】 専門看護師教育課程の履修経費(回答施設数:41)

項目	施設数	%
本人が全額負担する	18	43.9
病院が一部負担する	12	29.3
病院が全額負担する	9	22.0
その他	2	4.9
合計	41	

(2)-② 専門看護師教育課程を履修するにあたっての身分の取り扱いについて

【表76】 専門看護師教育課程履修の際の身分の取り扱い(回答施設:40)

項目	施設数	%
出張	12	33.3
職務専念免除	6	16.7
休職	17	47.2
その他	5	13.9
合計	40	

(2)-③ 認定看護師資格取得の研修、専門看護師教育課程の履修以外の研修参加への支援について

【表76】 認定・専門看護師以外の研修参加への支援(記述式回答)

特に決まっていない。年に1回短時間で部内の勤務に影響しない範囲ならば出張扱いで交通費支給
ケースバイケースで病院が全額負担する または 本人が全額負担する
実習指導者:経費全額病院負担・職務専念義務免除 看護管理者研修:受講料本人、交通費病院、職務専念義務免除) 病院が必要と考える研修は経費全額病院負担・出張
年間の出張旅費の範囲内で活用、それ以外は自己負担
病院が必要と認めた研修は病院出張となり、受講料・交通費・滞在費全額負担する。
理事会へ申出...決定(出張)
病院機構(ブロック事務所)主催は、費用は病院負担。その他研修は自己負担
受講料 交通費 滞在費 病院負担(金額によるが)出張扱い。休日手当が支給される。
出勤扱い、出張旅費負担
業務とキャリアアップに別れていて、業務=日勤扱い キャリア=公休扱いとなります。
研修内容で費用を申請 出張扱いにする
当院と関連のある内容の研修に関しては、病院が一部負担にて出張扱い
病院が必要と認めた場合には、病院が全額負担
ほとんどの場合出張扱い

1日及び、看護協会の研修etcは勤務(出張)扱いとし、病院が全額負担
一部の研修については日勤出張扱い
研修内容により異なる その都度検討
実習指導者、ファーストレベル研修は出張とし病院が全額負担 日常の院外研修(県外も)は年1回病院負担(研修費・交通費)
年1回は公費扱い。出張で研修費・交通費・食事代病院負担
病院が必要と認めた研修は病院負担。出張扱い。
出張扱いと研修扱い。(日勤扱いとするが費用が自己負担)
実習指導者研修は病院が全額負担 出張扱いとしています。
病院全額負担、半額負担、個人負担で研修内容で決定される
看護教員養成研修一出張扱い 受講料相当額支給 給与支給
長期研修についてはその都度決裁を受け出張扱いとなることが多い。短期のものはすべて出張扱い
病院が一部を負担
研修内容にもよるが、業務に必要な者は出張としている
経費 病院全額負担 出張扱い
病院が必要と認めた研修は病院が全額負担で出張とする
自己研鑽に関せざる者は自己負担で、病院から支持する場合は全額病院負担で出張の取り扱い
出張扱い
1日もしくは連日でない研修には、予算の範囲内で研修費を病院が負担し、勤務扱い
資格認定受験について自己負担・病院が必要と認める研修は出張扱い
病院規定に沿って各種研修が病院負担、個人負担等決められている
出張 参加費 旅費 病院負担
病院内で規定を設け、研修費の負担分を審査会で決定している。(一部支援など)
受講料、交通費は病院が全額負担。出張で取り扱い
病院が全額負担

問13. 直近3ヶ月(4月～6月)における1日平均入院患者数、外来患者数等について

【表78】 直近3ヶ月における1日平均入院患者数の分布(病床種別施設数)

分布	一般病床 (n=48)	療養病床 (n=31)	精神病床 (n=13)	その他 (n=12)	合計 (n=104)
～50人	21	20	1	8	50
51～100人	7	9	2	2	20
101～150人	4	2	1	2	9
151～200人	6	0	2	0	8
201～250人	2	0	3	0	5
251～300人	2	0	0	0	2
301～350人	2	0	2	0	4
351～400人	1	0	0	0	1
401～450人	1	0	1	0	2
451～500人	0	0	1	0	1
501～550人	1	0	0	0	1
551人～	1	0	0	0	1

【表79】 直近3ヶ月における平均在院日数の分布(病床種別施設数)

種別 日数	一般病床 (n=46)	療養病床 (n=29)	精神病床 (n=12)	その他 (n=11)	合計 (n=98)
～10日	3	0	0	1	4
11～20日	33	0	0	0	33
21～30日	4	1	0	0	5
31～40日	2	1	0	0	3
41～50日	3	1	0	1	5
51～60日	0	2	0	1	3
61～70日	0	0	0	1	1
71～80日	0	1	0	3	4
81～90日	0	1	0	0	1
91～100日	0	0	0	0	0
101～200日	0	11	1	1	13
201～300日	0	3	4	3	10
301日～	1	8	7	0	16

【表80】 直近3ヶ月における1日平均外来患者数について(回答施設数:49)

1日平均外来患者数の平均		291.0人
1日平均外来患者数の分布	分布	施設数
	～50人	9
	51～100人	11
	101～150人	2
	151～200人	3
	201～250人	5
	251～300人	5
	301～350人	1
	351～400人	1
	401～450人	3
	451～500人	0
	501～550人	0
	551～600人	3
	601人～	6

【表81】 直近3ヶ月における1日平均外来患者数の分布(病床数別施設数)

分布	500床～ (n=2)	400～499床 (n=5)	300～399床 (n=5)	200～299床 (n=15)	100～199床 (n=4)	～99床 (n=18)
～50人	0	0	0	4	0	5
51～100人	0	0	0	2	0	9
101～150人	0	0	0	1	0	1
151～200人	0	0	1	0	0	2
201～250人	0	0	0	3	1	1
251～300人	0	1	1	1	2	0
301～350人	0	0	0	0	1	0
351～400人	0	0	0	1	0	0
401～450人	0	0	1	2	0	0
451～500人	0	0	0	0	0	0
501人～	2	4	2	1	0	0

【表82】 直近3ヶ月における1日平均外来患者数の病床種別施設数の分布(回答施設数=49)

分布	一般	一般・療養・他	療養	精神	一般・精神	療養・精神	合計
～50人	3	2	2	1	0	1	9
51～100人	2	3	3	3	0	0	11
101～150人	0	1	1	0	0	0	2
151～200人	1	2	0	0	0	0	3
201～250人	1	4	0	0	0	0	5
251～300人	0	3	0	1	1	0	5
301～350人	1	0	0	0	0	0	1
351～400人	0	1	0	0	0	0	1
401～450人	1	2	0	0	0	0	3
451～500人	0	0	0	0	0	0	0
501～600人	0	3	0	0	0	0	3
601人～	4	2	0	0	0	0	6
合計	13	23	6	5	1	1	49

問14. 入院基本料の算定状況

(1) 入院基本料の算定状況(複数回答)

【表83】 入院基本料の算定状況について(回答施設数:74)

種類	施設数	%	病床種別(複数回答)					
			一般	一般・他	精神 精神療養	回復	療養	その他
7対1	20	27.0	19	0	0	0	0	3
10対1	25	33.8	20	2	1	0	1	1
13対1	7	9.5	3	0	4	0	0	1
15対1	24	32.4	6	3	13	3	0	0
その他	23	31.1	0	0	2	1	16	5
合計			48	5	20	4	17	10

(2) ①「7対1入院基本料」の取得年月

【表84】 「7対1入院基本料」の取得年月(有効回答施設数:19)

年	施設数	%
平成18年	0	0.0
平成19年	8	40.0
平成20年	5	25.0
平成21年	3	15.0
平成22年	1	5.0
平成23年	2	10.0
合計	19	

★一般病床の19施設について示した。

(3) ②「7対1入院基本料」を取得している施設における、看護職員配置を引き上げるために取られた対応策(複数回答)

【表85】 看護職員配置を引き上げるために取られた対応策(有効回答施設数:19)

項目	施設数	%	順位
外来棟から病棟へ看護職員を配置転換した	13	68.4	1
新卒看護職の採用を増やした	10	52.6	2
病棟・病床数を削減した	4	21.1	3
病棟別に傾斜配置を行った	4	21.1	3
看護職員の業務の効率化を図った	4	21.1	3
病床数を変更せずに入院患者数を制限した	3	15.8	6
病棟と他部門の看護体制を一本化した	2	10.5	7
その他	2	10.5	

問15. 一般病棟における夜勤の実態

(1) 最近1ヶ月(平成23年7月)一般病棟 看護職員の総夜勤時間数

回答施設数 58施設

総夜勤時間数	時間	割合
①夜勤専従者	17521.75	5.1%
②夜勤時間16時間以下の者	4356.75	1.3%
③ ①②以外の者	321825.2	93.6%
合計	343703.7	100.0%

(2) 最近1ヶ月(平成23年7月)一般病棟 看護職員(非管理職)の一人あたり夜勤時間数の分布

回答施設数 67施設

夜勤時間数の分布	合計(人数)	割合
16時間以下	378	8.1%
16.1～32時間以下	341	7.3%
32.1～48時間以下	398	8.6%
48.1～64時間以下	997	21.5%
64.1～72時間以下	830	17.9%
72.1～80時間以下	704	15.2%
80.1～88時間以下	462	10.0%
88.1～96時間以下	290	6.2%
96.1～112時間以下	186	4.0%
112.1～144時間以下	51	1.1%
144.1～152時間以下	1	0.0%
152.1時間～	5	0.1%
合計	4,643	100.0%

(3) 最近1ヶ月(平成23年7月)一般病棟 看護職員(非管理職・常勤換算)一人あたり平均夜勤回数・看護職員数

(平均夜勤回数・看護職員数の両方に回答のあった施設のみ集計)

	3交代平均夜勤回数		2交代平均夜勤回数	
	件数	割合	件数	割合
1～2回未満	0	0.0%	1	3.0%
2～3回未満	0	0.0%	0	0.0%
3～4回未満	0	0.0%	4	12.1%
4～5回未満	0	0.0%	16	48.5%
5～6回未満	0	0.0%	9	27.3%
6～7回未満	2	6.1%	1	3.0%
7～8回未満	9	27.3%	0	0.0%
6～9回未満	15	45.5%	1	3.0%
9～10回未満	5	15.2%	0	0.0%
10回以上	2	6.1%	1	3.0%
計	33	100.0%	33	100.0%
平均値	8.36 回		4.75 回	
看護職員数	平均値	88.15 人	平均値	37.48 人
	合計値	2909.1 人	合計値	1236.8 人

(4) 一般病棟 看護職員の夜勤手当

	回答施設数	平均金額
1. 3交代制準夜勤	31	4,335
2. 3交代制深夜勤	30	4,908
3. 2交代制夜勤	33	10,414
4. 当直(非管理職)	12	9,103
5. 夜勤手当が定額で定められていない	7	-

問16. 看護職員の夜勤に関する就業規則における規制の有無

夜勤の就業規則における規制の有無

就業規則 内容	計	あり	なし	
1ヶ月あたり夜勤回数に上限を設ける	件数	67	21	46
	割合	100.0%	31.3%	68.7%
1ヶ月あたり夜勤時間に上限を設ける	件数	64	17	47
	割合	100.0%	26.6%	73.4%
1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける(3交代制)	件数	38	7	31
	割合	100.0%	18.4%	81.6%
1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける(2交代制)	件数	49	10	39
	割合	100.0%	20.4%	79.6%
次の勤務までに一定の間隔を設ける	件数	65	25	40
	割合	100.0%	38.5%	61.5%

夜勤の就業規則における規制の内容 一ヶ月あたり夜勤回数に上限を設けている施設

	3交代制		2交代制	
	件数	割合	件数	割合
～5回未満	0	0.0%	0	0.0%
5～6回未満	1	10.0%	0	0.0%
6～7回未満	0	0.0%	1	16.7%
7～8回未満	0	0.0%	2	33.3%
8～9回未満	6	60.0%	0	0.0%
9～10回未満	1	10.0%	2	33.3%
10～11回未満	1	10.0%	1	16.7%
11回以上	1	10.0%	0	0.0%
計	10	100.0%	6	100.0%
平均値		8.3回		8回

注) 3交代制と2交代制 両方を実施している病院を含んでいます。

夜勤の就業規則における規制の内容 一ヶ月あたり夜勤時間に上限を設けている施設

	件数	割合
～70時間未満	2	13.3%
70～80時間未満	12	80.0%
80～90時間未満	1	6.7%
90～100時間未満	0	0.0%
100～120時間未満	0	0.0%
120～140時間未満	0	0.0%
140時間以上	0	0.0%
計	15	100.0%
平均値		68.43時間

夜勤の就業規則における規制の内容 1日勤務時間について拘束時間に上限を設ける(3交代制・2交代制)

	3交代	
	件数	割合
8～9時間未満	2	40.0%
9～10時間未満	0	0.0%
10～15時間未満	0	0.0%
15時間～20時間未満	3	60.0%
計	5	100.0%
平均値		12.8時間

	2交代	
	件数	割合
～14時間未満	0	0.0%
14～15時間未満	0	0.0%
15～16時間未満	2	25.0%
16～17時間未満	6	75.0%
17～18時間未満	0	0.0%
18時間以上	0	0.0%
計	8	100.0%
平均値		15.88時間

夜勤の就業規則における規制の内容 次の勤務時間までに一定間隔を設ける

	件数	割合
～10時間未満	9	39.1%
10～15時間未満	2	8.7%
15～20時間未満	2	8.7%
20～25時間未満	7	30.4%
25～30時間未満	0	0.0%
30～35時間未満	1	4.3%
35～40時間未満	0	0.0%
40～45時間未満	0	0.0%
45時間未満	2	8.7%
計	23	100.0%
平均値		18.22時間

問17. 勤務表作成基準と夜勤負担軽減の取り組みについて

(1) 勤務表作成基準の設定

勤務表作成基準	施設数	割合

設けている	33	43.4%
設けていない	29	38.2%
不明・無回答	14	18.4%
計	76	100.0%

(2) 夜勤負担軽減に盛り込まれている内容と2011年7月勤務表での実施状況

ローテーションは日勤→準夜勤→深夜の方向で進むようにしている(三交代勤務の場合のみ)	勤務表作成基準		
		件数	割合
	盛り込まれている	9	27.3%
	盛り込まれていない	12	36.4%
	不明・無回答	12	36.4%
	計	33	100.0%
	実施状況		
	実施できていた	8	88.9%
	実施出来なかった	1	11.1%
	不明・無回答	0	0.0%
計	9	100.0%	
1ヶ月に数回は連続した2日間を完全な休みとする	勤務表作成基準		
		件数	割合
	盛り込まれている	18	54.5%
	盛り込まれていない	13	39.4%
	不明・無回答	2	6.1%
	計	33	100.0%
	実施状況		
	実施できていた	17	94.4%
	実施出来なかった	1	5.6%
	不明・無回答	0	0.0%
計	18	100.0%	
法令による休憩時間の順守等、休憩・仮眠時間を確実に確保している	勤務表作成基準		
		件数	割合
	盛り込まれている	25	75.8%
	盛り込まれていない	6	18.2%
	不明・無回答	2	6.1%
	計	33	100.0%
	実施状況		
	実施できていた	21	84.0%
	実施出来なかった	2	8.0%
	不明・無回答	2	8.0%
計	25	100.0%	
その他	連続勤務上限 連続休暇下限 禁止すべき勤務 準夜⇒日勤の禁止 勤務希望の回数は2回 ワークライフバランスを考え希望5回以内はOK 準夜勤⇒日勤は組まない		

(注: 小数点以下四捨五入しているため、合計値が合わないところがあります。)

医療機関等看護職員需要調査票

〔 病院名 : _____ 〕
 〔 問合せ先電話番号 : _____ 〕
 〔 記入者氏名 : _____ 〕

問1. 平成23年7月1日現在の看護職員の現員数、欠員数等を記入してください。

- 【注1】 職種別について、保健師・助産師の免許を有していても看護師として採用された場合は、『看護師』の欄に記入してください。
- 【注2】 『常勤』『平均勤務年数』欄は、常勤者（週の所定労働時間37.5時間）全員の貴病院における勤務年数の平均値を求め、小数点以下第1までの数値を記入してください。算出が困難な場合は、直近の数値をご記入ください。
『短時間正職員』欄は、週の所定労働時間が37.5時間を1人として換算してください。
- 【注3】 『非常勤』及び『パート・アルバイト』は、次のとおり記入してください。
非常勤：常勤のものと同じ勤務時間であるが、雇用期間が限定されている者
パート・アルバイト：勤務時間が常勤の者より短く、雇用期間が限定されている者
- 【注4】 『パート・アルバイト』欄の常勤換算方法
週の所定労働時間が37.5時間の場合は、37.5時間を1人として換算してください。
また、常勤換算後、1人未満の端数が出た場合は、小数点以下第1位までの数値を記入してください。
- 【注5】 『休業・休職』には、産前・産後休業、育児休業、介護休業、病気休業中の者の人数を記入してください。
- 【注6】 『欠員数』は、「欠員が充当できていない」、「年度途中の退職者があるため」等により生じている、欠員の実人数を記入してください。

	常勤		短時間正職員		非常勤	パート・アルバイト		退職・休業	欠員数	必要数
	平均勤務年数	実人員	常勤換算	実人員		常勤換算				
	A1		A2	B	C	D	A1+A2+B+C+D			
看護師	人	年	人	人	人	人	人	人	人	人
准看護師	人	年	人	人	人	人	人	人	人	人
助産師	人	年	人	人	人	人	人	人	人	人
保健師	人	年	人	人	人	人	人	人	人	人
合計	人		人	人	人	人	人	人	人	人

問2. 看護職員を補充したいと考えている部分は、どのようなところですか。該当する欄に○を記入してください。（複数回答可）

【注】 下記の内容以外で補充したいと考えてみえる部分があれば、空欄に記入してください。

番号	内 容	常 勤	非 常 勤	パート・アルバイト
1	患者ケアにかかる時間を増やすために必要な職員			
2	フルタイムで働ける職員（夜勤専従）			
	フルタイムで働ける職員（土・日・祝のみ）			
	フルタイムで働ける職員（日勤のみ）			
3	有給休暇取得（年次休暇・夏期休暇など）の取得率を上げるために勤務する職員			
4	研修による人員不足を補充するための職員			
5	産休・育休・休職者の補充をするための職員			
6	休床再開のための職員			
7	新人研修を実施するために必要な職員			
8	人員不足となる時間帯を補充する短時間勤務職員			
9				
10				

問3. 平成23年度採用の看護職員（新卒採用者）の退職者数について、記入してください。

【注】 平成23年4月新卒採用者で、平成23年6月30日までに退職したすべての方について、記入してください。

看護師	准看護師	助産師	保健師	合計
人	人	人	人	人

問4. 平成22年度の採用、退職者数等を記入してください。

【注】 平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間のすべての採用者数、退職者数等について、記入してください。

	募集人数		採用者数				退職者数				
	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	うち22年度新卒採用者		常 勤	非常勤	うち22年度新卒採用者		
					常 勤	非常勤			常 勤	非常勤	
看護師	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
准看護師	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
助産師	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
保健師	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
合計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問5. 平成22年度の退職者（常勤）の理由別人数について、記入してください。

【注1】 平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間に退職した常勤職員すべての方について、記入してください。

【注2】 『退職者数』＝『退職理由別内訳』の合計となります。退職者数は問4の a～hの数字と同じになります。

【注3】 『退職理由別内訳』欄は、主な理由となるもの一つを選んでください。

【注4】 下記の理由以外の理由で退職された場合は、その理由を空欄へ記入してください。

退職者数	看護師		准看護師		助産師		保健師	
	a	o	b	f	g	d	h	
	人	人	人	人	人	人	人	人
1. 他の医療機関への転職	人	人	人	人	人	人	人	人
2. 結婚	人	人	人	人	人	人	人	人
3. 出産・育児	人	人	人	人	人	人	人	人
4. 子どものため（就学生以上）	人	人	人	人	人	人	人	人
5. 進学	人	人	人	人	人	人	人	人
6. 転勤・転居	人	人	人	人	人	人	人	人
7. 家族の健康・介護の問題	人	人	人	人	人	人	人	人
8. 本人の身体的健康理由	人	人	人	人	人	人	人	人
9. 本人の精神的健康理由	人	人	人	人	人	人	人	人
10. 他の職種への転職	人	人	人	人	人	人	人	人
11. 看護内容への不満	人	人	人	人	人	人	人	人
12. 労働条件への不満	人	人	人	人	人	人	人	人
13. 人間関係	人	人	人	人	人	人	人	人
14. 定年・契約期間満了	人	人	人	人	人	人	人	人
15.	人	人	人	人	人	人	人	人
16.	人	人	人	人	人	人	人	人
17.	人	人	人	人	人	人	人	人

問6. 採用後1年の新卒看護職員の現時点における職場定着状況について、記入してください。

【注1】 平成18年度～平成22年度に採用した新卒正規看護職員について記入してください。

【注2】 『採用者数』は、各年度4月1日の新卒（正規）採用者数を記入してください。

【注3】 『定着者数』は、各年度新卒（正規）採用者のうち、平成23年7月1日の時点で定着している人数を記入してください。

年度		看護師	准看護師	助産師	保健師	合計
平成22年度	採用者数	人	人	人	人	人
	定着者数	人	人	人	人	人
平成21年度	採用者数	人	人	人	人	人
	定着者数	人	人	人	人	人
平成20年度	採用者数	人	人	人	人	人
	定着者数	人	人	人	人	人
平成19年度	採用者数	人	人	人	人	人
	定着者数	人	人	人	人	人
平成18年度	採用者数	人	人	人	人	人
	定着者数	人	人	人	人	人

問7. 看護職員における今後の増員・減員の予定について、記入してください。

(1) 今後3年間に、増員・減員の予定はありますか。 該当する番号に○をつけてください。

1. 増員の予定がある ⇒ (2)へ 2. 減員の予定がある ⇒ (3)へ 3. 増員・減員の予定はない 4. 分からない

(2) 「問7(1)」で、『1』と回答された病院に伺います。

増員が見込まれる理由について、該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 病床の増加 2. 外来部門の充実 3. 受診者数の増加 4. 夜勤体制の充実
 5. 訪問看護部門の強化 6. 看護業務の増加 7. 診療報酬に伴う看護職員配置基準の見直し
 8. 看護職員研修の充実 9. その他 []

(3) 「問7(1)」で、『2』と回答された病院に伺います。

減員が見込まれる理由として、該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 病床の減少(病床閉鎖を含む) 2. 診療科目の見直し 3. 看護職員配置の見直し
 4. 看護業務の効率化(IT化等) 5. その他 []

問8. 「多様な勤務形態」の導入状況について伺います。該当する欄に○をつけてください。(複数回答可)

【注】 下記の内容以外に取り組みられていることがあれば、空欄へ具体的に記入してください。(例：小学校就業前までの勤務時間短縮など)

番号	取組内容	導入している	現在検討中	検討の予定なし
1	週または月のうちの勤務日数を減らす勤務形態	1	2	3
2	1日のうちの勤務時間数が選択できる勤務形態	1	2	3
3	フレックスタイム制	1	2	3
4	同一の病棟内においても2交代・3交代の選択ができる	1	2	3

問9. 看護職員の確保・定着のために取り組んでいるものについて伺います。

現在取り組んでいるものを、『取り組んでいるもの』の欄に○をつけてください。(複数回答可)

また、取組内容で、特に効果があったものを3つ選んでいただき、『効果があったもの』の欄に○をつけてください。

【注】 記載した内容以外に取り組みられていることがあれば、「37」以降の空欄へ記入してください。

番号	取組内容	取り組んでいるもの	効果があったもの	番号	取組内容	取り組んでいるもの	効果があったもの
1	病院・看護部門の理念や方針の周知			25	乳幼児健診休暇		
2	プリセプター制の導入			26	子どもの病気などの看護休暇		
3	サポーター制の導入			27	子どもの夏休み期間中の休暇		
4	人員増や人員配置の工夫などによる勤務体制の改善			28	男性の育休取得を推進		
5	残業・休日出勤削減への取り組み			29	メンタルヘルス相談体制の充実		
6	新卒看護職員の夜勤従事時期の遅延導入 (例：8月以降から)			30	潜在看護職員の採用増		
7	全看護職員対象の教育研修体制の充実			31	再雇用・育休・介護休暇からの復帰支援ツールの導入		
8	全看護職員対象の教育・研修担当者の配置			32	育児などを理由に退職した者の優先的再雇用		
9	新人看護職員研修体制の充実			33	病院広報の充実(ホームページなど)		
10	キャリア開発研修のための身分保障			34	学生実習の受け入れ		
11	キャリア開発研修のための費用負担			35	職場体験型インターンシップの導入		
12	医療安全対策の充実			36	奨学金制度の実施		
13	職場の暴力対策・相談体制の充実			37			
14	採用年齢制限の引き上げ・撤廃			38			
15	夜勤専従・パートタイマー・短時間勤務導入などによる、多様な勤務形態の導入			39			
16	定年の引き上げ・廃止			40			
17	定年後の継続雇用制度の導入による定年退職者の再雇用増			41			
18	給与・手当の改善			42			
19	院内保育の充実			43			
20	院内学童保育の充実						
21	宿舍の確保						
22	親、子、配偶者の介護支援						
23	リフレッシュ休暇などの長期休暇						
24	育児休業制度の充実						

問10. 看護職員確保に向け、潜在看護職員の再就業に向けた研修(雇用が前提でないもの)について伺います。

(1) 実施状況について、該当する番号に○をつけてください。

1. すでに実施している ⇒ (2)へ	2. 今後、実施予定である	3. 実施する予定はない
---------------------	---------------	--------------

(2) 「問10(1)」で、『1』と回答された病院に伺います。取組状況などを下記へ記入してください。

	回数	1回の研修日数	申込者(見込)数	参加者(見込)数	貴施設への就業者(見込)数
平成22年度の実績	回	日	人	人	人
平成23年度の計画	回	日	人	人	人

問 1 1. 貴病院の認定看護師、専門看護師について、伺います。

(1) 貴病院における配置状況を教えてください。

認定看護師 取得分野	取得人数	活動状況 (例:専従、病棟との兼務など)
感染管理		
皮膚・排泄ケア		
緩和ケア		
集中ケア		
がん化学療法看護		
がん性疼痛看護		
救急看護		
糖尿病看護		
透析看護		
手術看護		
摂食・嚥下障害看護		
不妊症看護		
新生児集中ケア		
認知症看護		
脳卒中リハビリテーション看護		
合計		

専門看護師 取得分野	取得人数	活動状況 (例:専従、病棟との兼務など)
がん看護		
精神看護		
地域看護		
老人看護		
小児看護		
母性看護		
慢性疾患看護		
急性・重症患者看護		
感染症看護		
家族支援		
合計		

(2) 今後、養成したい認定・専門看護分野は、どの分野ですか。

--

問 1 2. 貴病院における看護職員のキャリアアップ等へのサポート体制について伺います。該当するものに○をつけてください。

(1) 認定看護師資格取得のための研修参加への支援

① 研修費用の経費 (受講料、交通費、滞在費を含む) 負担について

1. 本人が全額負担	2. 病院が一部を負担	3. 病院が全額負担	4. その他 []
------------	-------------	------------	------------

② 研修へ出席するにあたっての身分の取り扱いについて

1. 出張	2. 職務専念義務免除	3. 休職	4. その他 []
-------	-------------	-------	------------

(2) 専門看護師教育課程を履修するにあたっての支援について、記入してください。

① 履修に係る経費 (受講料、交通費、滞在費を含む) 負担はどのようにされていますか。 (例: 本人が全額負担)

1. 本人が全額負担	2. 病院が一部を負担	3. 病院が全額負担	4. その他 []
------------	-------------	------------	------------

② 専門看護師教育課程を履修するにあたっての身分の扱いはどのようにされていますか。 (例: 休職)

1. 出張	2. 職務専念義務免除	3. 休職	4. その他 []
-------	-------------	-------	------------

(3) 上記以外の研修については、どのようにされていますか。

--

問 1 3. 平成 2 3 年 4 月～6 月の 3 か月間における 1 日平均入院患者数、外来患者数等を記入してください。

【注】 小数点以下第 1 位までの数値を記入してください。その他病床には () に種別を記載して下さい。

	一般病床	療養病床	精神病床	その他病床 ()	その他病床 ()	その他病床 ()	合 計
1 日平均入院患者数	人	人	人	人	人	人	人
平均在院日数	日	日	日	日	日	日	日
1 日平均外来患者数							人

問 1 4. 入院基本料の算定状況等について伺います。該当するものに○をつけてください。

(1) 入院基本料の算定状況 (平成 2 3 年 7 月 1 日現在)

【注】 病床種別を設問後の () 内に記載してください。 [例: 一般、療養、精神など]

1. 7 対 1 入院基本料 [] ⇒ (2) ~	2. 10 対 1 入院基本料 []
3. 13 対 1 入院基本料 []	4. 15 対 1 入院基本料 []
5. その他 []	

(2) 「問 1 4 (1)」で、『1. 7 対 1 入院基本料』を選択された病院に伺います。

① 取得年月を記入してください。

平成	年	月	取得
----	---	---	----

② 看護職員配置を引き上げるためにとられた対応策について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 新卒看護職員の採用を増やした	2. 外来等から病棟へ看護職員を配置転換した	3. 病棟・病床数を削減した
4. 病棟と他部門の看護体制を一本化した	5. 病棟別に傾斜配置を行った	6. 看護職員の業務の効率化を図った
7. 病床数を変更せずに入院患者数を制限した	8. その他 []	

問15. 一般病棟における夜勤（パート等も含む）について伺います。（特定入院料の算定病棟・治療室は除きます。）

(1) 最近1か月（平成23年7月）の、一般病棟の看護職員（非管理職）の総夜勤時間数をご記入ください。

【注】 該当者がいない場合は、記入欄に0（ゼロ）をご記入ください。

総夜勤時間数	① 夜勤専従者	② 夜勤時間16時間以下の者	③ ①②以外の者	合計
	時間	時間	時間	時間

(2) 最近1か月（平成23年7月）の、一般病棟の看護職員（非管理職）の1人あたり夜勤時間数の分布について伺います。

それぞれの時間数に該当する看護職員数をご記入ください。

【注】 夜勤専従者は除いてご記入下さい。

	16時間以下	16.1～32時間以下	32.1～48時間以下	48.1～64時間以下	64.1～72時間以下	72.1～80時間以下
看護職員数	名	名	名	名	名	名
	80.1～88時間以下	88.1～96時間以下	96.1～112時間以下	112.1～144時間以下	144.1～152時間以下	152.1時間～
看護職員数	名	名	名	名	名	名

(3) 最近1か月（平成23年7月）の、一般病棟の看護職員（非管理職・常勤換算）1人あたり平均夜勤回数を小数点以下第1位までご記入ください。また、一般病棟の看護職員数（非管理職・常勤換算）をご記入ください。

【注】 夜勤専従者、夜勤16時間以下の者は除いてご記入ください。

	3交代（変則含）	2交代（変則含）
① 1人あたり平均夜勤回数（夜勤専従者、夜勤16時間時間以下の者は除く）	回	回
② 看護職員数（夜勤専従者、夜勤16時間時間以下の者は除く）	名	名

(4) 一般病棟の看護職員の夜勤手当をご記入ください。

【注】 夜勤割り増し分を除く定額分のみをご記入ください。管理職の当直などは除きます。

【注】 夜勤手当が定額で定められていない場合は、現状をご記入ください。（例：その時によって〇〇円程度手当あり。）

1. 3交代制 準夜勤 [円]	2. 3交代制 深夜勤 [円]	3. 2交代制 夜勤 [円]
4. 当直（非管理職） [円]	5. 夜勤手当が定額で定められていない [円]	

問16. 貴病院では看護職員の夜勤について、以下の内容が就業規則およびそれに準じる規則や規定の中に盛り込まれていますか。該当するものに○をつけてください。

	規則の有無		規則の内容	
① 1か月当たり夜勤回数に上限を設ける	1. あり 2. なし	「1. あり」を選んだ場合 ⇒	上限（ ）回	
② 1か月あたり夜勤時間に上限を設ける	1. あり 2. なし		上限（ ）時間	
③ 1日の勤務時間について拘束時間に上限を設ける	3交代制（変則含）		1. あり 2. なし	上限（ ）時間
	2交代制（変則含）		1. あり 2. なし	上限（ ）時間
④ 次の勤務までに一定の間隔を設ける	1. あり 2. なし			最低（ ） 時間を空ける

問17. 貴病院での勤務表作成基準と夜勤負担軽減の取り組みについて伺います。

(1) 貴病院では、看護部または各病院において勤務表作成基準を設けていますか。

1. 設けている 2. 設けていない

(2) 「問17.(1)で『1. 設けている』と回答された病院に伺います。

以下の夜勤負担軽減の取り組みについて、勤務表作成基準に盛り込まれていますか。また、実際に平成23年7月の勤務表で、これらの取り組みが実施できましたか。あてはまるところに○をつけてください。

	勤務表作成基準		平成23年7月勤務表での実施状況
① ローテーションは日勤→準夜勤→深夜の方向で組むようにしている。（三交代勤務の場合の）	1. 盛り込まれている 2. 盛り込まれていない	「1. 盛り込まれている」を選んだ場合 ⇒	1. 実施できていた 2. 実施できなかった
② 1か月に数回は連続した2日間を完全な休みとする。	1. 盛り込まれている 2. 盛り込まれていない		1. 実施できていた 2. 実施できなかった
③ 法令による休憩時間の遵守等、休憩・仮眠時間を確実に確保している	1. 盛り込まれている 2. 盛り込まれていない		1. 実施できていた 2. 実施できなかった
④ その他	1. 盛り込まれている 2. 盛り込まれていない		1. 実施できていた 2. 実施できなかった

※ 設問は以上です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒で、担当者あて9月30日までに返送してください。

なお、ご回答できない場合や期日を過ぎてしまった場合でも同封の返信用封筒にてそのままご返送ください。

平成23年度
医療機関等看護職員需要調査
平成24年 3月

編集・発行 / 三重県健康福祉部医療政策室

TEL : 059-224-2337

社団法人 三重県看護協会

TEL : 059-225-1010